

2020 年度事業報告

I 2020 年度事業報告

1 概要

2020 年度、「デジタルトランスフォーメーション (DX)」は急速に進展し、めまぐるしく変わり続けるアフターコロナの世界で、新常态 (ニューノーマル) を前提としたさらなる変革が求められ、技術的かつ社会的変革につながる「ゲームチェンジ」の可能性をもたらしている。それを実現する手段として、多様なプレイヤーが得意領域を持ち寄り、新しい産業構造や価値観を作りあげる「ビジネス・エコシステム」が注目されている。その「ビジネス・エコシステム」の拡大には、標準を活用して他社に自社の技術をオープンにすることで利益を得るオープン戦略と、知財等を駆使したクローズ戦略の両輪が必要となり、国際標準化の活用はますます重要性を増している。

以下に、これらの背景を踏まえた最重要技術分野への対応や活動状況を示す。

- (1) デジタルトランスフォーメーション時代の新規ビジネス、ICT サービスの開発の推進
 - ・ 業際イノベーション本部を通じて、土木建築業界に属するユーザ企業の ICT を活用した土木工事のイノベーション活動を推進。同時に TTC 会員へソリューション提案の場を提供。
 - ・ AI for Good Global Summit の Webinar を中心に、海外の ICT を活用した COVID-19 対策やスタートアップ、e スポーツ等の先進事例を収集し、各種レポートをホームページに掲載するとともに、TTC レポート、ITU ジャーナルに寄稿。
 - ・ AI 活用専門委員会にて、AI 適用時の品質・信頼性・説明責任についてあるべき姿の検討を実施し TR の制定に向け活動中。
- (2) 量子通信など新たな標準化テーマへの対応
 - ・ 昨年度、日本の量子暗号ネットワーク技術が反映された Y.3800 に基き、今後関連する国際標準が策定されることになった。2020 年 11 月には、TTC 標準「量子鍵配送ネットワークの概要 (JT-Y3800)」「量子鍵配送ネットワークの機能要求条件 (JT-Y3801)」を策定。
 - ・ 量子 ICT フォーラム連携による量子鍵配送標準化への貢献や量子暗号の最新動向を共有するオンラインセミナー「量子暗号の最前線と今後のビジネス化に向けて」を開催、会員・会員外含めて参加者 326 名を記録。
- (3) Network2030 を見据えた対応
 - ・ ITU 主催の AI/ML アーキテクチャを 5G ネットワークにどのように適用するかをテーマ

にしたAI/ML in 5G Challengeイベントの運営管理委員に貢献するとともに、日本ラウンドの後援と、Final conferenceに進んだ上位3グループに対して、盾並びに表彰状を授与。

- ・ Beyond5Gの検討を加速させるべく、本年度設立されたBeyond 5G新経営戦略センター、Beyond 5G推進コンソーシアムに参画。

(4) 社会課題の解決に向けた SDGs への貢献

- ・ コロナ禍の出入国で使える世界共通電子証明書「コモンパス」の標準化を、マルチメディア応用専門委員会e-Healthで推進。
- ・ COVID-19 や災害時に活用可能な遠隔手話通訳サービス・システム仕様書を策定。
- ・ サラワク大学（マレーシア）と共に COVID-19 禍の中で病院の救急外来部門の患者の位置、動きをモニタリングする実証実験を APT（Asia-Pacific Telecommunity）の国際協力研究として推進。

2 標準化活動

2.1 標準化会議

- ・ 世界貿易機関(WTO)の TBT 協定(Agreement on Technical Barriers to Trade)を尊重し、標準案リストの Web 公開、標準案の提示から決定までの期間を 60 日間確保するなど公正性、中立性、透明性を配慮した標準の制改定手続きを行い、当年度は 10 件の標準制定、15 件の標準改定を実施（別紙 1）。
- ・ 2021 年 2 月 25 日に開催した第 135 回標準化会議で、各専門委員会の 2021 年度中期標準化戦略を承認。

2.2 企画戦略委員会

2.2.1 企画戦略委員会の主な取り組み

企画戦略委員会は、事業計画・企画・広報・体制検討・協調など様々な役割を担う重要な会議体である。今年度は、18の専門委員会と2つのアドバイザーグループで活動を実施（別紙2・3）。

(1) COVID-19関連を中心とした先進事例の共有

AI for Good Global Summitで発表された内容を中心に、ICTを活用したCOVID-19対策について委員会で情報共有を行い、TTCで取り組むべきテーマについて意見交換を行った。

(2) 情報流通及び双方向性の担保

COVID-19の影響を把握するため、企画戦略委員を通じて各専門委員会の活動を把握。委員会で情報共有を行うとともに課題解決に取り組んだ。

2.2.2 アドバイザリーグループ

(1) 技術調査アドバイザリーグループ

TTC の標準化活動に資するため、海外の主要なフォーラム標準化活動の最新動向を調査分析、調査結果を「TTC フォーラム調査報告書（第 27 版）」として展開。

表 TTC フォーラム調査報告書（第 27 版）概要

対象フォーラム	72(調査終了 4, 新規 6)
注目分野	①IoT・スマートシティ ②5G ③コネクテッド・カー ④SDN/NFV ⑤AI・ビッグデータ
広報活動	企画戦略委員会および専門委員会に展開 ホームページ 2/22 公開、TTC レポート（2021 年 4 月号）

(2) 国際連携アドバイザリーグループ

- ITU-T 新会期における新規研究課題、体制構築および WTSA 決議、A シリーズ勧告の制改訂に向けた APT WTSA 準備会合(第 2 回～第 4 回)における日本寄書提出、並びに国内議論を推進、APT 共通提案のとりまとめへの貢献。
- 同じく WTSA-20 に向けて ITU-T TSAG 会合(9 月、1 月)における日本寄書提出、並びに国内議論を推進。

2.3 専門委員会

- 18 の専門委員会で標準化動向・新規標準化課題の調査、国際標準化機関への提案、TTC ドキュメントを作成（標準・仕様書・技術レポート・調査報告書）。
- 2020 年度の目標達成状況を含む 2021 年度中期標準化戦略を策定し、企画戦略委員会および標準化会議で承認（別紙 4）。
- ITU-T の各 SG(Study Group)における標準勧告の制定や FG(Focus Group)における新規課題の発掘に貢献するため提出した寄書数や、TTC 標準等の制改定数は下表のとおり。oneM2M や 3GPP への提案は、各パートナーシッププロジェクトに参加する TTC 会員より提案。

表 寄書・標準等制改定数

	2020 年度	2019 年度	2018 年度
寄書数	96	158	112
最も貢献した専門委員会(数)	伝送網・電磁環境 (21)	伝送網・電磁環境 (39)	伝送網・電磁環境 (37)
TTC 標準制改定	25	14	24
仕様書制改定	1,256	560	1,975

内 3GPP	1,252	536	1,952
技術レポート制改定	43	15	99
内 3GPP	40	1	81

詳細は別紙 5-1,5-2,5-3 を参照のこと。

2.4 IPR 委員会

- ・ 10月1日付で IPR 委員会委員長は、長野寿一氏(一般社団法人電線総合技術センター)から藤野仁三氏(前東京理科大教授)に交代。
- ・ TTC セミナー「標準必須特許の歴史的な流れを知り、今後の標準必須特許問題への対応を考える」を開催。また同セミナーを受け、標準必須特許の IPR 宣言の状況についての会員企業からの疑問に対してコンサルティングを実施。

2.5 標準化活動に資する業務の受託

TTC の標準化活動に資する業務として 3 件の業務を受託した。本受託業務の実施により、標準化活動に関連する知識・ノウハウの蓄積を行うことができた。

(1) 総務省より受託「デジュール及びフォーラム標準に関する標準化活動の強化に資する調査等の請負」等

- ・ ITU-T、APT の標準化活動調査として、TSAG、ASTAP などの会合に参加するとともに、ITU-T の SG、FG 活動を分析し、標準化活動の在り方を提言。標準化教育テキストの更新や標準化人材育成セミナーも実施。
- ・ フォーラム等 5 団体(IEEE-SA、IETF、ONAP、TM Forum、W3C)について、各団体のホームページの記載内容を基に、各種情報(目的、対象分野、構成、会員・会費等)を調査する活動状況調査を実施。
- ・ 標準化機関・団体の活動の調査を行う者 11 組により、IETF、W3C、TM Forum、3GPP、ITU-T 等における標準化動向調査を実施。また、2021 年度調査者の公募、および、評定(順位付け)を実施。
- ・ 標準化支援活動の一環として、詳細調査の調査者による外部向けの、国際標準化動向に係るセミナーを「ICT ビジネス戦略オンラインセミナー」と称し、オンライン形式にて 2 回開催。

(2) ICT 国際標準化懇話会

- ・ 国際標準化活動の重要性の啓蒙活動の一環として、総務省幹部と日本を代表する情報通信関連企業の経営層の方々を集めた、ICT 国際標準化等に関する意見交換を行う場を企画運営。
- ・ 早稲田大学リサーチイノベーションセンター教授の稲田修一氏による「2030 年の日本の望ましい姿とその実現のために必要な変化」と題した講演のあと、同氏をモデレータ

として参加者の間の意見交換を実施。

(3) 企業戦略と標準化活動に関する企業へのヒアリング調査

- ・ 上記(1)の受託の一貫で、ICT国際標準化懇話会参加企業を中心に、各社幹部等へ経営方針・予算配分・組織・人材育成の簡単でヒアリングを実施、国際標準化活動を深掘りし、総務省として取るべき施策等を取りまとめた。

(4) 標準化活動の成功事例調査

- ・ 上記(1)の受託の一貫で、昨年度ヒアリングを行ったICT国際標準化懇話会参加企業の中から、国際標準化された商品が事業やビジネスに活用されるなど、日本の情報通信分野における標準化活動を後押しする事例について、実際に活動に携わった方々にインタビューを実施、記事化した内容や各社から共有された写真をTTCのホームページに「グローバル・ビジネスレビュー ～国際競争に打ち勝つための戦略的取組事例～」に掲載。

(5) NICTより受託「スマートIoT推進フォーラムの事務局支援業務」

- ・ フォーラム配下の分科会・プロジェクトの事務局運営、IoT価値創造推進チームの運営を支援（詳細は3.2を参照のこと）。

(6) 総務省より受託「ITU-T Web会議システム利用方法教材の作成」

- ・ COVID-19の影響によりITU-Tの会合がオンライン開催になっており、これに対応するため「ITU-Tのバーチャル会議（リモート参加）のためのユーザガイド」（動画）を作成、また、これをTTCのHPにおいても公開。

3 分野横断的な活動を通じた新分野への活動の推進

デジュール標準とフォーラム標準、サービス・アプリケーションレイヤの検討に一体的かつ柔軟に対応するため、分野をまたがった標準化提案作成作業など、ICT利活用やIoTによるイノベーション創出を推進する活動を実施。

3.1 デジタルトランスフォーメーション活動の推進

- ・ 業際イノベーション本部を通じて、会員企業等のDX活動を技術とビジネスの両面から支える活動を強化。
- ・ 土木建築業界に属するユーザ企業の、今まで経験則で行っていた土木工事に対して、ICTを活用したイノベーション活動を提案。同時にTTC会員へユーザ企業に対するソリューション提案する場も提供。

- ・ 業際イノベーション本部内に設置した IoT ワーキングパーティの取り組みとして、脳の画像情報などを使用して、脳の健康管理領域（Brain Healthcare）における指標化（Quotient）を進める BHQ コンソーシアムの活動、ろう者が外出時に近接対面で会話する際に、通信手段を利用して遠隔からの手話通訳を可能にする遠隔手話サービス・システム仕様書の検討を支援。

3.2 スマート IoT 推進フォーラム

- ・ 事務局運営支援を行った技術標準化分科会では、IoT に関わる技術の調査や標準化の検討を行い、TTC の IoT エリアネットワーク専門委員会と連携して、ITU-T SG20 への新規標準化課題の提案、3つの TTC-TR（Technical Report）を発行に寄与。
- ・ IoT 価値創造推進チームの活動では、さまざまな業種において IoT 導入を先進的に進めている企業等の事例調査や投稿事例の精査を行い、19 件の IoT 導入事例をホームページで紹介。
- ・ IoT・ビッグデータ（BD）・人工知能（AI）等に関する、技術実証・社会実証を促進するテストベッドの要件とその利活用促進策の検討を行うテストベッド分科会、IoT 時代のユーザ企業に求められるスキルに関する情報や人材育成に関する取り組みを行っている人材育成分科会の活動を支援。

4 関連標準化機関・団体等との連携

4.1 国際標準化機関・団体等との連携

国際連携アドバイザーグループで、日本国内の SDO として、他の国際標準化機関・団体等との連携・協調を図った。主に、ITU-T TSAG への対処方針の策定や、APT 関連会合で中心的な役割を果たした。

- ・ APT WTSA 準備会合では、前代表理事の前田が議長として、初のオンライン開催を決定。総勢 257 名と従来の 2 倍以上が参加。ITU-T 事務局長 Chaesub Lee 氏を招いて、ITU-T として WTSA に向けた準備状況を報告。
- ・ ASTAP 新体制の確認が主な目的だった ASTAP-32 では、副議長に岩田代表理事が選任。
- ・ 完全バーチャルで行われた TSAG 第 6 回会合において、IEC/ISO/ITU の組織間の標準化計画の調整メンバーに、日本電気（株）の永沼氏が選任。SG の課題と SDGs の 17 のゴールとのマッピング方法に関するガイドラインを、技術レポートとするか引き続き検討。
- ・ oneM2M Finance subcommittee の議長を務め、パートナーシッププロジェクトの推進に寄与。
- ・ 3GPP Funding & Financial Group (FFG) の議長を引き続き務め、3GPP 全体予算の管理

と成案に寄与。

- ・ 総務省が主導する官民協力活動であるデジタル海外展開プラットフォーム (JPD3) に連携会員として参画し、主にデジタル技術の海外展開活動を推進。
- ・ 自動車に関わる標準化活動において ISO で活動する公益社団法人自動車技術会、一般社団法人 JASPAR 等と連携した活動を推進。

4.2 国内および各分野における関連標準化機関・団体等との連携

(1) 量子 ICT フォーラム

- ・ 2020 年 4 月に協力関係に関する覚書を調印 (調印式はオンラインで実施)。合同のオンラインセミナー「量子暗号の最前線と今後のビジネス化に向けて」を実施 (2021 年 1 月)。
- ・ 引き続き ITU-T をはじめとする国際標準化団体の取り組み状況を把握・共有し、国際標準化活動への貢献を目指す。

(2) Beyond 5G 関連

- ・ Beyond 5G コンソーシアム及び Beyond 5G 新経営戦略センターの会員となり、Beyond 5G に関わる産学官の取り組みや国際標準化の推進活動に参画。

(3) 様々な団体との共同セミナーの開催

- ・ ARIB と連携して「5G 最新機能 (3GPP リリース 16) ～仕様概要、実現ソリューションと産業連携～」のセミナーを開催。
- ・ (株) クリエイティヴ・ヴィジョンと共催でオンラインセミナー「DX 時代のオープンイノベーション×スタートアップ」のシリーズセミナーを 4 回開催。その内の 1 回は、CES2021 に出展した JapanTechProject@b8ta とも連携。
- ・ 電子情報通信学会 通信ソサエティの RISING 研究会と共催で、オンラインワークショップ「ITU AI/ML in 5G Challenge 日本ラウンド受賞者による AI 活用研究の発表」を 12 月に開催。
- ・ BHQ コンソーシアムと共催で、オンラインセミナー「デジタルネット時代のヘルスケア関連商品・サービス最新取組動向」を 10 月に開催。
- ・ IPTV アクセシビリティコンソーシアムと共催で、オンラインセミナー「放送・通信における情報アクセシビリティの向上 ～緊急災害時の障害者への情報保障を推進するために～」を 7 月に開催。
- ・ インターネットソサエティ日本支部 (ISOC-JP)、慶應義塾大学 W3C (World Wide Web Consortium) と共催で、オンラインセミナー「Society5.0 の実現と標準化 IETF×W3C ～両者の新たな連携を目指して～」を 7 月に開催。
- ・ JIIA (一般社団法人日本インダストリアルイメージング協会) と ITU-T におけるマシンビジョンの標準化の検討状況についての情報交換を実施。
- ・ 一般財団法人 日本 ITU 協会の後援を受け、講師に 2 月に APT (アジア・太平洋電気

通信共同体) 事務総長に就任された近藤勝則氏をお迎えし、TTC オンラインセミナー「APT での取組み ～COVID-19 禍の中で～」を 3 月に開催。

- ・ 一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会 (CIAJ) と共催で、オンラインセミナー「災害時の通信確保 ～東日本大震災から 10 年を経て～」を 3 月に開催。

5 普及・広報活動

5.1 TTC 標準・仕様書等の発行物の頒布

- ・ 2020 年度の TTC 標準類ダウンロード数は 131,163 で昨年度比約 135%。上位 20 件のダウンロード数は 41,965 で昨年度比約 133%となった。
- ・ 標準類ダウンロード数を専門委員会別にみると最も多いのが「信号制御専門委員会」の約 3.2 万件、「伝送網・電磁環境専門委員会」の約 2.4 万件、「3GPP 専門委員会」の約 1.3 万件と続く。

表 TTC 標準類ダウンロード数

	2020 年度	2019 年度	2018 年度
累計	131,163	97,361	84,732
TOP20 合計	41,965	31,557	38,036
月平均	10,930	8,113	7,061
専門委員会別 TOP3	信号制御 (31,756)	信号制御 (25,403)	伝送網・電磁環境 (21,017)
	伝送網・電磁環境 (24,392)	伝送網・電磁環境 (20,872)	信号制御 (20,045)
	3GPP (13,254)	マルチメディア応用専門 (9,256)	企業ネットワーク (9,327)

詳細は別紙 6 を参照のこと。

5.2 各種セミナー・ワークショップの開催及び展示会等への出展

- ・ COVID-19 の感染拡大に伴い、オンラインセミナーの開催にシフト、昨年度 2 月以降中止もしくは延期としていたが、5 月から再開。
- ・ 講師と調整がとれたセミナーは会員向けに動画配信を実施するなど、積極的に情報提供を実施。
- ・ 従来の標準化動向や活動成果発表にとどまらず、将来の標準化活動の発掘を目的とした量子・5G・IoT・e スポーツ・スタートアップ等の新テーマを扱ったセミナーを 29 回開催 (別紙 7-1)。
- ・ 特に、e スポーツやスタートアップに関しては初のシリーズセミナーとして、月 1 回のペースで 3~4 回開催。
- ・ セミナー等参加者数は延べ 4,179 名、会員外の参加者 1,067 名と、オンライン化による

移動稼働削減等の効果により、昨年度比 190%となった。

5.3 ホームページ・TTC レポート等の充実

- ・ ホームページを情報発信の重要なツールと位置づけ、制改定した標準類やセミナーの開催報告（講演資料含む）や、ブログ等タイムリーに情報提供（2020 年度トピックス件数：82 件）。
- ・ 今年度実施したオンラインセミナーの大半について、イベント動画アーカイブとしてホームページで公開。
- ・ 今年度は、35 周年の節目となり、トップページの画像を変更するとともに、1985 年からの「あゆみ」について全編見直しを行い、年表として公開。
- ・ 新規のコンテンツについても、標準類制定状況・寄書数や、AI for Good Global Summit の各種レポートなどをまとめたサイト、国際標準化の成果を事業活動に有効活用している事例を表示するグローバル・ビジネスレビュー等拡充。
- ・ 会員向けに TTC レポートを年 4 回発行(2020 年 4 月、7 月、10 月、2021 年 1 月)。ICT を活用した COVID-19 対策や、欧米のスタートアップ紹介など特集記事を展開。
- ・ 活動状況を毎月 1 回メール配信し、TTC 活動及び関連会議に関する情報を提供。
- ・ ITU ジャーナルに TTC 事務局が調査した AI for Good Global Summit 等の内容を中心に、以下 4 件を寄稿。
 - 7 月号巻末言 「テレワーク導入が加速、アフターコロナの働き方!？」
 - 9 月号特集「新型コロナウィルス感染症 (COVID-19) で変わる会議・セミナー模様」
 - 9 月号特集「ICT×COVID-19 との闘い- AI for Good Global Summit より-」
 - 11 月号スポットライト「海外のコンタクト・トレーシング・アプリ（接触確認アプリ）の動向について」

5.4 関連団体等主催セミナー・展示会等への後援・協賛

- ・ 関連する他団体等が主催するセミナー・ワークショップについて、10 件の後援・協賛を通じ連携を強化(別紙 7-2)。
- ・ IETF の上部組織であるインターネットソサエティの日本支部 (ISOC-JP) が主催する IETF 会合報告会について、2 件の後援を実施。
- ・ 1 件の展示会等へ後援・協賛を実施(別紙 7-3)。

6 表彰

- ・ 表彰制度にもとづき表彰選考委員会を開催し、情報通信技術賞の対象者を選考(2020 年 4 月 2 日)。
- ・ 2020 年 6 月 16 日、2020 年度、総務大臣表彰 (1 名・1 団体)、TTC 会長表彰 (6 名)、

功労賞（15名）、感謝状（1名・2団体）を表彰（別紙8）。

- ・ なお、例年開催している表彰式は、新型コロナウイルス感染症の影響のため中止。

7 業務運営

7.1 規程等の整備

規程等の制改定等の状況は、次のとおりである。

項目名	主な議題
定款の一部改定	第 58 回定時総会（2020.6.16）

7.2 会議等の実施状況

総会、理事会、評議会の実施状況は、次のとおりである。

会議名	実施日	主な議題
第 52 回評議会	2020.5.27	・ 2019 年度標準作成状況について
第 210 回理事会	2020.5.27	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2019 年度事業報告及び附属明細書について ・ 2019 年度貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにそれらの附属明細書について ・ 定款の一部改定について ・ 役員候補の推薦について ・ 受賞者選考の報告について
第 58 回定時総会	2020.6.16	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2019 年度事業報告及び附属明細書の件 ・ 2019 年度貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにそれらの附属明細書の件 ・ 定款の一部改定の件 ・ 役員選任の件
第 211 回理事会	2020.6.16	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会長、専務理事の互選について ・ 入会の承認について
第 212 回理事会(書面)	2020.7.29～8.6	・ 入会の承認について
第 213 回理事会(書面)	2020.11.24～12.1	・ 役員候補の推薦について
第 59 回臨時総会	2020.12.23	・ 役員選任の件
第 214 回理事会	2020.12.23	・ 専務理事の互選について
第 215 回理事会(書面)	2021.1.12～1.20	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企画戦略委員会委員の選任について ・ 入会の承認について
第 216 回理事会	2021.2.19	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2021 年度事業計画について ・ 2021 年度収支予算について

		<ul style="list-style-type: none"> ・評議会委員の選任について ・表彰選考委員会委員の選定について
--	--	--

7.3 会員及び財務状況

- ・ 財務面では、会費口数が計画口数を若干下回ったが、コロナウイルス感染症の影響に伴う支出の減や調査研究受託業務の収入等により黒字決算を実現。
- ・ 会員数及び会費口数の増加に向けて、新規標準化テーマへの積極的な取り組み等標準化活動の活性化に向けた専門委員会の体制整備や、会議やセミナー開催を支援する補助金確保に向けた取り組みを実施。
- ・ 専門委員会等の活動報告やセミナーの充実、ホームページからの情報発信、会議室の環境整備など、会員数及び専門委員会登録数の増加に向けた施策を強化するとともに、経費削減に向けたきめ細かな取り組みを実施。

<2020 年度に取り組んだ主な環境整備・経費節減施策>

- ・ TTC 会議室環境整備（アクリル板等の購入）
- ・ Web（オンライン）会議環境整備
- ・ データベースサービスを活用した会員等へのメール配信業務の効率化
- ・ TTC 標準仕様作成の自動化ツールの開発

（2020 年度における会員の推移）

会員種別	2019 年度末	2020 年度末	2020 年度における変動
正会員	78	77	準会員から正会員への種別変更 1 社、正会員から賛助会員への種別変更 1 社、退会 1 社
準会員	4	2	入会 1 社、準会員から正会員への種別変更 1 社、退会 2 社
賛助会員	7	10	入会 2 社、正会員から賛助会員への種別変更 1 社
協力会員	9	9	
合計	98	98	

（2020 年度における専門委員会登録数の主な推移）

専門委員会	変動
Network Vision	新規登録 3 社、退会 2 社
セキュリティ	新規登録 2 社、退会 1 社
コネクテッド・カー、光ファイバ	新規登録 1 社

マルチメディア応用、IoT・スマートシティ、 信号制御、番号計画	新規登録 1 社、退会 1 社
伝送網・電磁環境	新規登録 1 社、退会 2 社
企業ネットワーク、移動通信マネジメント、 3GPP、アクセス網、IoT エリアネットワーク、 網管理	退会 1 社
oneM2M	退会 2 社
AI 活用	退会 3 社

7.4 事業運営の効率化および事業基盤の強化・安定化

- ・ ワーク・ライフ・バランスの実現と、事務局運営の円滑化・効率化を促進するため女性活躍推進法に基づき策定した行動計画について、ノー残業デー及び有給休暇取得促進を実施。
- ・ 新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大防止の観点から、TTC 会員、非会員及び事務局職員の健康と安全を確保するため、会議及びセミナーの中止・延期や従来の臨場（TTC 会議室を利用）方式に加え、Web 会議（オンライン会議）を活用。事務局職員のシフト勤務の試行実施や在宅勤務の試行実施など事業運営の方法を一部見直し柔軟な対応を実施。
- ・ 3GPP 専門委員会の活動を通し、四半期ごと進めている TTC 標準仕様の作成(ダウンストリーム作業)において、これまで手作業で行ってきた作業に対し、徐々に自動化 Tool 等の導入を進め、人為エラーの回避と工程時間の大幅な短縮を実現。

(1)標準化会議の審議経過

内容	標準化会議回数			
	第 126 回	第 127 回	第 128 回	第 129 回
標準案の周知	2020.3.6 (Web 公開)	2020.6.5 (Web 公開)	2020.9.11 (Web 公開)	2020.12.4 (Web 公開)
標準案説明会	中止 (注 1)	中止 (注 1)	Network Vision 2020.9.23 その他委員会 中止 (注 1)	光ファイバ伝送 2020.12.18 その他委員会 中止(注 1)
標準案に対する意見・対案の募集	2020.3.6 ～ 2020.3.27	2020.6.5 ～ 2020.6.26	2020.9.11 ～ 2020.10.2	2020.12.4 ～ 2021.1.8
対処方針の周知(1 回目)	中止 (注 2)	中止 (注 2)	中止 (注 2)	中止 (注 2)
対処方針に対する意見・対案の募集	—	—	—	—
対処方針の周知(2 回目)	—	—	—	—
票決実施の議長決定周知	2020.4.24 (E-Mail)	2020.7.27 (E-Mail)	2020.10.30 (E-Mail)	2021.2.5 (E-Mail)
電子投票実施	2020.5.15 9:00 ～ 2020.5.21 15:00	2020.8.21 9:00 ～ 2020.8.27 15:00	2020.11.6 9:00 ～ 2020.11.12 15:00	2021.2.12 9:00 ～ 2021.2.18 15:00

【内容欄の説明】

標準案の周知：標準案に対する意見および対案の提出依頼および IPR 声明書の提出依頼。

標準案説明会：原則として「標準案に対する意見・対案の締切日」までに開催。

対処方針の周知：意見・対案に対し、当該専門委員会として対処方針を示す。

(注 1)：標準案説明会を案内したが、参加希望者が 1 名以下だったため、個別に対応し説明会は中止

(注 2)：標準案に対する意見・対案の提出がなかったため中止

(2)2020 年度標準の制改定件数および意見・対案の提出状況

標準化会議 (投票締切日)	標準作成状況 (注1)			意見・対案の提出状況 (件数)							
	新規	改定	廃止	標準化会議委員提案				専門委員会自主提案			
				技術内容に 関するもの		記述形態に 関するもの		技術内容に 関するもの		記述形態に 関するもの	
				提案	採用	提案	採用	提案	採用	提案	採用
第 126 回 (2020.5.21)	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第 127 回 (2020.8.27)	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第 128 回 (2020.11.12)	2	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第 129 回 (2021.2.18)	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	10	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(注1)本表に記載の「改定」以外に、単なる誤記訂正等、技術的内容には変更が無い改定は当該専門委員会での承認のみで改定版の制定が行えるので、その数値は本表には含まれていない。

(3)制改定及び廃止した標準等の年度別の件数推移

以下の標準類の制改定数と廃止数には、標準類の英訳版((E)標記のドキュメント番号の標準類)、および標準の単なる誤記訂正による改定は含めていない。

・ 標準類の年度別「制定・改定・廃止」件数推移 (3PPP/3GPP2 以外)

区分	年度	2016	2017	2018	2019	2020
標準	制定	9	9	17	11	10
	改定	2	6	7	3	15
	廃止	0	0	0	0	0
仕様書	制定	18	0	22	24	2
	改定	0	0	1	1	2
	廃止	0	0	0	0	0
技術レポート	制定	16	6	8	11	2
	改定	2	3	1	3	1
	廃止	0	0	0	0	0

(参考)2020 年度英訳版：改定 4 件。誤記訂正：改定 1 件。

- 3GPPおよび3GPP2の標準類の年度別「制定・改定・廃止」件数推移

区分	年度	2016	2017	2018	2019	2020
仕様書	制定	824	195	1,952	535	1,252
	改定	0	0	0	0	0
	廃止	0	0	0	3	0
技術レポート	制定	38	3	90	1	40
	改定	0	0	0	0	0
	廃止	0	0	19	0	0

- TTC 標準類の累積件数(3GPP/3GPP2 を含む 2020 年度累計)

	年度	2016	2017	2018	2019	2020
標準類	標準	860	869	886	897	907
	仕様書	11,803	11,998	13,972	14,528	15,782
	技術レポート	537	546	625	637	679

- TTC 標準類英訳版の制改定及び廃止 (参考)

種別	専門委員会名	年月日	制改定及び廃止した標準類の番号とタイトル
標準	信号制御	2020.5.21	JJ-90.30(E) (改定 第7版) Common interconnection interface Between IMS operator's networks (English Edition)
		2020.11.12	JJ-90.30 (E) (改定 第8版) Common interconnection interface between IMS operator's networks (English Edition)
			JJ-90.31 (E) (改定 第5版) Common interconnection interface for carrier ENUM (English Edition)
			JJ-90.32 (E) (改定 第3版) Common interconnection interface for SIP domain name resolution based on DNS (English Edition)

- TTC 標準の誤記訂正による改定 (参考)

種別	専門委員会名	改定年月日	改定した標準番号とタイトル
標準	マルチメディア 応用	2020.4.10	JT-H870 (改定 第1.1版) 安全なリスニングデバイス/システムのためのガイドライン

(1)企画戦略委員会 委員長・副委員長・委員一覧

役職	氏名	会員名
委員長(標準化会議議長)	滝嶋 康弘	KDDI 株式会社
副委員長(標準化会議副議長)	瀬社家 光	日本電信電話株式会社
委員	表 英毅	ソフトバンク株式会社
委員	鹿嶋 正幸	沖電気工業株式会社
委員	澤田 政宏	株式会社 NTT ドコモ
委員	四方 清隆	富士通株式会社
委員	上茶 雄	日本電信電話株式会社
委員	樽屋 克彦	株式会社日立製作所
委員	中野 裕介	KDDI 株式会社
委員	山田 徹	日本電気株式会社

(2)部門・専門委員会・AG の担当企画戦略委員について

部門	専門委員会・アドホック等
ICT 活用アプリケーション： 四方、山田、樽屋、澤田	<ul style="list-style-type: none"> ・マルチメディア応用：四方 ・コネクテッド・カー：樽屋 ・BSG：山田 ・IoT・スマートシティ：澤田、山田
プラットフォーム： 四方、樽屋、中野	<ul style="list-style-type: none"> ・AI 活用：四方、樽屋 ・oneM2M：中野 ・セキュリティ・企業ネットワーク：樽屋
プロトコル・NW 管理・品質： 上茶、表	<ul style="list-style-type: none"> ・信号制御・番号計画：上茶 ・網管理：表
アーキテクチャ： 上茶、中野、澤田	<ul style="list-style-type: none"> ・Network Vision：上茶、中野 ・移動通信網マネジメント、3GPP：澤田、中野
トランスポート・アクセス・ エリア NW：鹿嶋、表	<ul style="list-style-type: none"> ・IoT エリアネットワーク：鹿嶋 ・伝送網・電磁環境、光ファイバ伝送：表 ・アクセス網：表、鹿嶋
アドバイザーグループ	<ul style="list-style-type: none"> ・国際連携・技術調査：山田

2021年3月末日

(3)企画戦略委員会開催状況

回	開催日	主な審議課題等
第 140 回	2020.4.23	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2020年度表彰選考（功労賞）の選考について ・ イノベーション委員会について ・ 2020年標準化会議予定 ・ データセンターの構築・運用課題に関する調査検討会 ・ 量子に関するITU-T関連の会合情報 ・ 量子ICTフォーラムとのMoU締結 ・ APT事前会合模様 ・ 各国のICT活用したCOVID19対策について (AI for Good Webinar Seriesより)
第 141 回	2020.5.28	<ul style="list-style-type: none"> ・ イノベーション活動・研究会について ・ 2019年度事業報告 ・ 量子ICTフォーラムとの取り組み ・ オンラインセミナーの状況 ・ 自動運転関連&スタートアップ紹介&ハッカソンの動向 (AI for Good Global Summitより)
第 142 回	2020.6.29	<ul style="list-style-type: none"> ・ APPA国際標準化検討状況について ・ オンラインセミナーの開催報告 ・ スタートアップ紹介等 (AI for Good Global Summitより)
第 143 回	2020.7.28	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企画戦略委員へのお願い ・ APPA国際標準化検討状況について ・ APT WTSA準備会合模様について ・ スタートアップ紹介等 (AI for Good Global Summitより) ・ 5Gチャレンジについて
第 144 回	2020.9.28	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各委員会発表 ・ 安藤間様とのイノベーション活動 ・ シリーズセミナーについて
第 145 回	2020.10.26	<ul style="list-style-type: none"> ・ コネクテッド・カー関連 ・ 各委員会発表 ・ 前回発表の宿題 ・ オンラインスタートアップセミナー有料化について ・ 第6回TSAG会合報告
第 146 回	2020.11.24	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回発表の宿題 ・ 委員の発表を踏まえた拡大企画戦略委員会の開催方法について

		<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画トピックス案 ・フォーラム調査について ・グローバル・ビジネスレビュー ～国際競争に打ち勝つための戦略的取組事例～の公開
第 147 回	2020.12.16	<ul style="list-style-type: none"> ・企画戦略委員変更予定について ・前回発表までの宿題回答 ・事業計画案 ・フォーラム調査2020中間報告 ・スタートアップセミナー実施状況について ・AIサミット関連
第 148 回	2021.1.22 (拡大形式)	<ul style="list-style-type: none"> ・横断的課題、委員会連携に関する議論・意見交換 ・専門委員会・AGの中期標準化戦略（2021年度）（案）

(1) 専門委員会の構成

2020年度

2021年度

専門委員会	統廃合 状況	専門委員会
マルチメディア応用専門委員会 IPTV SWG 電子情報健康管理SWG(e-health-swg) アクセシビリティSWG メディア符号化・通信SWG ILE-SWG	継続	マルチメディア応用専門委員会 IPTV SWG 電子情報健康管理SWG(e-health-swg) アクセシビリティSWG メディア符号化・通信SWG ILE-SWG
コネクテッド・カー専門委員会	継続	コネクテッド・カー専門委員会
BSG専門委員会	継続	BSG専門委員会
IoT・スマートシティ専門委員会 ICTと気候変動SWG	継続	IoT・スマートシティ専門委員会 ICTと気候変動SWG
AI活用専門委員会	継続	AI活用専門委員会
oneM2M専門委員会	継続	oneM2M専門委員会
セキュリティ専門委員会	継続	セキュリティ専門委員会
企業ネットワーク専門委員会 企業網インタフェースSWG CTL/F SWG 消防指令システムSWG	継続	企業ネットワーク専門委員会 企業網インタフェースSWG CTL/F SWG 消防指令システムSWG
信号制御専門委員会 SIP SWG NGN信号アップストリーム SWG	継続	信号制御専門委員会 SIP SWG NGN信号アップストリーム SWG
網管理専門委員会 通信ネットワーク運用管理SWG 通信サービス品質評価SWG	継続	網管理専門委員会 通信ネットワーク運用管理SWG 通信サービス品質評価SWG
番号計画専門委員会	継続	番号計画専門委員会
Network Vision専門委員会 NGNアップストリームSWG QoSアーキテクチャSWG クラウドSWG NetSoft SWG	継続	Network Vision専門委員会 NGNアップストリームSWG QoSアーキテクチャSWG クラウドSWG NetSoft SWG
3GPP専門委員会 サービス・システムアспектSWG コアネットワークSWG 無線アクセスネットワークSWG RCS SWG (Rich Communication Service and System Guideline)	継続	3GPP専門委員会 サービス・システムアспектSWG コアネットワークSWG 無線アクセスネットワークSWG
移動通信網マネジメント専門委員会 3GPP2 SWG	継続	移動通信網マネジメント専門委員会 3GPP2 SWG
IoTエリアネットワーク専門委員会 通信インタフェースSWG サービスプラットフォームSWG	継続	IoTエリアネットワーク専門委員会 通信インタフェースSWG サービスプラットフォームSWG
伝送網・電磁環境専門委員会 装置機能・管理SWG 多重分離インタフェースと網同期SWG 情報通信装置のEMC・ソフトエラーSWG	継続	伝送網・電磁環境専門委員会 装置機能・管理SWG 多重分離インタフェースと網同期SWG 情報通信装置のEMC・ソフトエラーSWG
アクセス網専門委員会 次世代光アクセス網SWG ハイブリッドアクセス網SWG	継続	アクセス網専門委員会 次世代光アクセス網SWG ハイブリッドアクセス網SWG
光ファイバー伝送専門委員会 光ファイバシステムSWG 光ファイバファイバケーブルSWG	継続	光ファイバー伝送専門委員会 光ファイバシステムSWG 光ファイバファイバケーブルSWG

(2) 専門委員会 委員長・副委員長一覧

2021年3月末日現在

部門	専門委員会名	委員長	副委員長
ICT 活用アプリケーション	マルチメディア応用専門委員会	山本 秀樹 (沖電気工業(株))	芹沢 昌宏 (日本電気(株))
	コネクテッド・カー専門委員会	千村 保文 (沖電気工業(株))	鈴木 邦一 (株)デンソー
	BSG 専門委員会	谷川 和法 (日本電気(株))	荒木 則幸 (日本電信電話(株))
	IoT・スマートシティ専門委員会	山田 徹 (日本電気(株))	後藤 良則 (日本電信電話(株))
プラットフォーム	AI 活用専門委員会	藤原 正勝 (日本電信電話(株))	宮澤 雅典 (KDDI(株))
	oneM2M 専門委員会	山本 賢一 (KDDI(株))	山崎 育生 (日本電信電話(株))
	セキュリティ専門委員会	三宅 優 (KDDI(株))	森村 一雄 (日本電信電話(株))
	企業ネットワーク専門委員会	馬場 秀和 (富士通(株))	須藤 一郎 (岩崎通信機(株))
プロトコル・NW 管理・品質	信号制御専門委員会	蓑田 学 (KDDI(株))	斉藤 壮一郎 (沖電気工業(株))
	網管理専門委員会	高呂 賢治 (沖電気工業(株))	清水 智明 (NTTコムウェア(株))
	番号計画専門委員会	伊藤 努 (日本電信電話(株))	井上 統之 (KDDI(株))
アーキテクチャ	Network Vision 専門委員会	後藤 良則 (日本電信電話(株))	桑原 幹夫 (株)日立製作所
	移動通信網マネジメント専門委員会	横田 大輔 (ソフトバンク(株))	相川 慎一郎 (富士通(株))
	3GPP 専門委員会	田村 利之 (日本電気(株))	山田 郁夫 (株)NTTドコモ
トランスポート・アクセス・エリア NW	IoT エリアネットワーク専門委員会	西川 嘉樹 (日本電信電話(株))	高呂 賢治 (沖電気工業(株))
	伝送網・電磁環境専門委員会	村上 誠 (日本電信電話(株))	小西 良明 (三菱電機(株))

	アクセス網専門委員会	岡崎 浩治 (ソフトバンク株)	水口 潤 (三菱電機株)
	光ファイバ伝送専門委員会	中島 和秀 (日本電信電話株)	飯塚 哲也 (ソフトバンク株)

(1) 中期標準化戦略 (2020 年度活動報告)

中期標準化戦略 (2020年度重点取り組みと活動報告)		専門委員会・AG名	マルチメディア応用専門委員会	2/3①
重点取り組みと成果	ILE、IPTV、アクセシビリティ、電子情報健康管理に関する国際標準化団体アップストリーム14件 (ITU-T寄書14件、ASTAP寄書0件) 国内向けに、セミナー4件、国内標準仕様書1件、ダウンストリーム2件、記事掲載4件を実施。			
主な活動項目	概況指標	2020年度目標 (当初計画時)	2020年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	20件程度	14件	
	外部会合への参加・連携状況	SG16会合：6-7月 ASTAP会合：5月 IPTVアクセシビリティコンソーシアムと連携 HATSと連携	・ITU-T SG16会合：6月 ・ASTAP-32：11月 ・IPTVアクセシビリティコンソーシアムとの連携 ・HATSとの連携 (JT-T38に関連してHATSフォーラムの活動注視)	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	各SWGで設定		
	TS/TR/SR	各SWGで設定	・TS-1024 (遠隔手話通訳サービス・システム仕様書)	
③ ダウンストリーム	数	各SWGで設定	2件 ・JT-H430.4 (超高臨場ライブ体験(ILE: Immersive Live Experience) : ILEシステムにおけるMMTのサービス構成、メディア伝送プロトコル、およびシグナリング情報) ・H.266が2020年11月10日に正式発行されたのを受けて、TTC略標準化を検討中。	

中期標準化戦略 (2020年度重点取り組みと活動報告)		専門委員会・AG名	マルチメディア応用専門委員会	2/3②
重点取り組みと成果	ILE、IPTV、アクセシビリティ、電子情報健康管理に関する国際標準化団体アップストリーム14件 (ITU-T寄書14件、ASTAP寄書0件) 国内向けに、セミナー4件、国内標準仕様書1件、ダウンストリーム2件、記事掲載4件を実施。			
主な活動項目	概況指標	2020年度目標 (当初計画時)	2020年度実施状況	記事
④ プロモーション 普及推進	セミナー	各SWGで設定 マルチメディア応用専門委員会としてのセミナーも検討する。	以下のとおり開催 ・6/24「CES2020に見る新たな潮流」(180名参加) ・7/30「ITU-T SG16における知的障害者の放送アクセシビリティに関する議論について」(147名参加) ・10/7「デジタルネット時代のヘルスケア関連商品・サービス最新取組動向」(146名参加) ・11/27「超高臨場感技術の標準化動向と事例に見るサービス展望」(101名参加)	
	記事投稿、講演会	適宜SG会合の結果報告、ドキュメント作成、ダウンストリームの概要をTTCLレポートに寄稿する。	・TTCLレポート4月号にJT-H430.2の記事を寄稿 ・TTCLレポート10月号にSG16会合の記事を寄稿 ・TTCLレポート10月号に医療福祉分野のICT標準とその普及について～総務大臣表彰を受賞して～を寄稿 ・TTCLレポート10月号にCES2020から寄稿	

中期標準化戦略 (2020年度重点取り組みと活動報告)		専門委員会・AG名	ILE-SWG	2/3
重点取り組みと成果	<ul style="list-style-type: none"> ITU-Tにおけるプレゼンス確保の観点から、ILEに関する基本勧告のメンテナンスや個別技術に関する勧告化を積極的に推進 メンバー間でのILEに関する相互理解を深めるため、イマーシブサービスの事例紹介をSWGで継続的に実施 超高臨場感技術の国内認知を高めるため、TTCセミナー「超高臨場感技術の標準化動向と事例に見るサービス展望」を実施 ILE勧告の国内認知を高めるため、ITU-T勧告のダウンストリームを実施 			
主な活動項目	概況指標	2020年度目標 (当初計画時)	2020年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	-	-	
	外部会合への参加・連携状況	ITU-T SG16会合：6月	ITU-T SG16会合：6月	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件		
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	1件	1件 JT-H430.4 (超高臨場ライブ体験(ILE: Immersive Live Experience)) : ILEシステムにおけるMMTのサービス構成、メディア伝送プロトコル、およびシグナリング情報	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	マルチメディア応用専門委員会のセミナーとして実施	2020年11月27日(金) TTCセミナー「超高臨場感技術の標準化動向と事例に見るサービス展望」を開催	
	記事投稿、講演会		・TTCレポート4月号にJT-H430.2の記事を寄稿	

中期標準化戦略 (2020年度重点取り組みと活動報告)		専門委員会・AG名	アクセシビリティSWG	2/3
重点取り組みと成果	<ul style="list-style-type: none"> Net119のサービス普及を側面からサポート (相互接続試験の場所提供など) 電話リレーサービスが2021年度からスタートするのに合わせ、必要に応じて標準化 (ガイドライン等) を検討 コロナ禍で重要な遠隔手話通訳サービスの仕様書制定 TTC会員の株式会社アステム様が、令和2年度 バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰にて 内閣総理大臣表彰を受賞 			
主な活動項目	概況指標	2020年度目標 (当初計画時)	2020年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	2件程度	1件	
	外部会合への参加・連携状況	・ITU-T SG16会合：6-7月 ・IPTVアクセシビリティコンソーシアムとの連携	ITU-T SG16会合：6月	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件	0件	
	TS/TR/SR	1件/0件/0件 TS-1024 遠隔手話通訳サービス・システム仕様書	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	1件	0件	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	・年度内にセミナーを1回開催 (電話リレーサービスの勉強会なども検討)	-	
	記事投稿、講演会		1件 TTCのWeb掲載「TTC会員の株式会社アステム様が、令和2年度 バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰にて 内閣総理大臣表彰を受賞されました。」 URL: TTC会員の株式会社アステム様が、令和2年度 バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰にて「内閣総理大臣表彰」を受賞されました。:: 一般社団法人情報通信技術委員会	

中期標準化戦略 (2020年度重点取り組みと活動報告) 専門委員会・AG名 IPTV-SWG 2/3

重点取り組みと成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会員企業のビジネスメリットのある国際標準化を推進することとし、新サービスやグローバル展開に向けたアップストリーム活動を継続 ・ IPTVフォーラム及びDSCの規格検討に合わせて同団体との連携を継続。国内外への普及の観点から必要に応じて必要となる勧告を日本主導で整備 ・ 会員企業の要望に応じてビジネス展開に資するダウンストリームを継続検討（実施には至らず）。 ・ TTCセミナー「ITU-T SG16における知的障害者の放送アクセシビリティに関する議論について」を実施 			
主な活動項目	概況指標	2020年度目標（当初計画時）	2020年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	-	1件	
	外部会合への参加・連携状況	ITU-T SG16会合：6月 ASTAP-32：5月	ITU-T SG16会合：6月 ASTAP-32：11月	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件	0件	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	1件	0件	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	マルチメディア応用専門委員会のセミナーに協力する	7/30 TTCセミナー 「ITU-T SG16における知的障害者の放送アクセシビリティに関する議論について」	
	記事投稿、講演会			

- ・APT（Asia-Pacific Telecommunity）：アジア・太平洋地域のICT分野の標準化活動を強化し、地域として国際標準の策定に貢献することを目的として設立された共同体
- ・ASTAP（APT Standardization Program）：APT内の標準化機関
- ・IPTVフォーラム：Internet Protocolを使用した動画配信の仕様の標準化と普及を目的とした国内標準化のための一般社団法人。HTML5の作業グループがハイブリッドキャスト技術仕様を策定
- ・DSC（一般社団法人デジタルサイネージコンソーシアム）：デジタルサイネージ産業の課題解決と新市場の創出と生活シーンでのサイネージ体験価値向上をミッションとする組織。相互接続ガイドラインを作成
- ・W3C（World Wide Web Consortium）：World Wide Webで使用される各種技術の標準化を推進する為に設立された非営利標準化団体。
- ・NexCDIフォーラム（映像配信高度化機構）：高度映像技術及び高速大容量通信を活用した高度映像配信サービスの技術的な検証を加速し、本サービス開始と普及・展開を推進するため設立された機構

中期標準化戦略 (2020年度重点取り組みと活動報告) 専門委員会・AG名 メディア符号化・通信SWG 2/3

重点取り組みと成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規制定されたビデオ符号化標準(H.266)に着目 ・ 相互接続上の課題があれば、HATSフォーラムと連携した取り組みを実施 ・ FAX端末の要望に基づく活動の推進 			
主な活動項目	概況指標	2020年度目標（当初計画時）	2020年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	-	-	
	外部会合への参加・連携状況	HATSとの連携 JT-T38に関連して、HATSフォーラムにて接続試験の実施後、TTC標準JT-T38へのフィードバック要否等のヒアリングを行って、今後も連携を図る。	HATSとの連携 JT-T38に関連してHATSフォーラムの活動注視。	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	-	-	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	ITU-T制定後にTTC簡略標準化。 ・H.VVC(Versatile video coding) ・H.VVC.1(適合性規定) ・H.VVC.2(参照ソフトウェア) ITU-T制定発行済み勧告の簡略標準化反映。 ・改版作業中の版数対応は制定時期を見極めて対応。 ・H.264V13～V14 ・H.265V4～V8	・H.266が2020年11月10日に正式発行されたのを受けて、TTC簡略標準化を検討中。	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	2020年度中に1回開催を検討	-	
	記事投稿、講演会	-	-	

中期標準化戦略 (2020年度重点取り組みと活動報告)		専門委員会・AG名	電子情報健康管理SWG	2/3
重点取り組みと成果	<ul style="list-style-type: none"> Safe Listening 勧告の普及・医療用UHD応用関連勧告の推進。脳情報プラットフォーム関連勧告化。 AIと保険医療標準化のフック 脳情報関連の新規テーマの検討 セミナー開催：3件。TTCLレポート：2件 			
主な活動項目	概況指標	2020年度目標 (当初計画時)	2020年度実施状況	記事
① アップストリーム他団体との連携	寄書数	3件程度	7件	
	外部会合への参加・連携状況	ITU-T SG16会合：6月	ITU-T SG16会合：6月	
② ドキュメント作成国内標準仕様書レポート	JJ標準			
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件	
③ ダウンストリーム	数	1件	0件	
④ プロモーション普及推進	セミナー	・年度内に数回セミナーを開催する。	以下のとおり開催 ・6/24「CES2020に見る新たな潮流」(180名参加) ・7/30「ITU-T SG16における知的障害者の放送アクセシビリティに関する議論について」(147名参加) ・10/7「デジタルネット時代のヘルスケア関連商品・サービス最新取組動向」(146名参加)	
	記事投稿、講演会	TTCLレポート、ITUジャーナル等	・TTCLレポート10月号に医療福祉分野のICT標準とその普及について～内閣総理大臣表彰を受賞して～を寄稿 ・TTCLレポート10月号にCES2020からを寄稿	

中期標準化戦略 (2020年度重点取り組みと活動報告)		専門委員会・AG名	コネクテッド・カー専門委員会	3 / 4
重点取り組みと成果	コネクテッド・カーに関する最近の国内外の動向に注視し、標準化活動を実施 (1) 災害時ITS応用：自動車を用いた防災・減災システム (VHUB) の普及に向けて、CIAJとの合同会議を設置 利活用ガイドラインを制定作業中 (2) ITSセキュリティ：セキュリティ専門委員会と連携し、V2Xに関するセキュリティガイドラインの策定 UNECE WP29 ITS/AD TFCSのセキュリティガイドラインに対応したITSセキュリティレポートX.1373の改定、追補版の作成を支援中 (3) ISO/TC22/SC31とITU-T SG16の連携によるVDS (Vehicle Domain Service) の標準化を支援 本活動は終了 (4) 5GにおけるV2X：5Gを活用したV2Xの標準化動向について、移動通信網マネジメント専門委員会と連携して、5GMF Connected Vehicle adhocに参加 意見交換、調査を実施			
主な活動項目	概況指標	2020年度目標 (当初計画時)	2020年度実施状況	記事
① アップストリーム他団体との連携	寄書数	2件 ・ITU-T SG16 / FG-VM 1件 ・ITU-T CITS 1件	5件 ・3件：OTA Technical paper作業提案、FSTP.SS-OTA 修正案、FG-VMLレポートに対する意見 ・1件：活動状況報告 更に1件を3月に提出予定	
	外部会合への参加・連携状況	・ITU-T CITS ・ITU-T SG16 FG-VM ・自動車技術会、JASPAR	・TTC活動報告 (山本委員) ・会合参加 (中尾委員、眞野事務局員) ・SG17 X.1373rev改訂に関して3J (JAMA, JSAE, JASPER) との連携支援 ・VDS (ISO/TC22/SC31/WG8) に関する活動は終了 (自協会方針変更による) ・5GMF Connected Vehicle adhocメンバーとして参加 ・ITS JAPAN スマートボールITS検討TFに参加	
② ドキュメント作成国内標準仕様書レポート	JJ標準	0件	0件	
	TS/TR/SR	0件 / 2件 / 0件 - V-HUBの利活用ガイドライン (CIAJ連携) - 自動運転のセキュリティに関するレポート	0件 / 3件 (予定) / 0件 - V-HUB利活用ガイドライン (2021年3月予定) - V-HUB要求条件 - 仕様の日本語化作業中 (同上) - 自動運転のセキュリティに関するレポートは中止 (具体テーマ未確定のため)	
③ ダウンストリーム	数	0件	0件	
④ プロモーション普及推進	セミナー	1回 TTCセミナー	1回 - V-HUBガイドライン紹介セミナー (2021年3月予定)	
	記事投稿、講演会	2件 - TTCLレポート - ITUジャーナル	2件 - TTCLレポート 1件 - ITUジャーナル記事 1件	

中期標準化戦略 (2020年度重点取り組みと活動報告) 専門委員会・AG名 BSG専門委員会 3 / 4

重点取り組みと成果	① 日本のICT技術の新興国普及を目指すため、ASTAP EG BSGに参画し、「ICTソリューションハンドブック」のフォロー・改定を継続 改定内容はTTC技術レポートに反映 → 継続中 ② 過去のパイロットプロジェクトサイトでの異業種間データを共有するプラットフォームをマレーシアと連携して維持管理 → 実行中 異業種間データを組合せた新産業創生に向け、新興国の若手研究者によるコンペ（アイデアソン）を開催 → 継続中 ③ 過去のパイロットプロジェクトも含め安定的に正確な現地データを取得するため、フィリピン、インドネシア等と連携して、持続可能なIoTシステムを検討 → 継続中 ④ 産学官連携プロジェクトを利用して、日本のICT技術の新興国普及のためのビジネスモデル形成およびステークホルダー育成の推進を継続 → マレーシアとAPT ICTプロジェクトに応募 ⑤ アジアで共通的に取り組むべき社会課題の解決に向けた新たなICTソリューションの検討と推進 → 検討継続中			
主な活動項目	概況指標	2020年度目標 (当初計画時)	2020年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	2件 ASTAP EG BSG (2020年5月予定) ・ICTソリューションハンドブック改定 ・その他	0件 ASTAPは総会とWG会合のみ開催 EG会合未開催となったため提出はなかった (ドラフトは完成)	
	外部会合への 参加・連携状況	・ASTAP: (2020年5月予定) ・SHAREミーティング: 1回 ・他国標準化団体との合同ワークショップ (マレーシアMTSFB、タイNBTC等) ・アイデアソン開催 (タイ or ベトナム or 他)	・11月開催となったASTAP-32 リモート会合に参加 ・SHAREミーティングはリモートにて3月に開催予定 ・他国標準化団体との合同ワークショップは開催見合わせ ・タイでアイデアソン (リモート) 開催を準備中	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件	0件	
	TS/TR/SR	0件 / 1件 / 0件 - TR: ICTソリューションハンドブック改定	0件 / 0件 / 0件 - ICTソリューションハンドブック改定はASTAP REPORT改版に 合わせる	
③ ダウンストリーム	数	0件	0件	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	・TTCセミナー 1回	1回 (予定) - SHAREミーティングに合わせ開催予定	
	記事投稿、講演会	・TTCLレポート記事: イベント毎に報告	1件 - タイの農村3か所とリモート講演会を開催	

中期標準化戦略 (2020年度重点取り組みと活動報告) 専門委員会・AG名 IoT・スマートシティ専門委員会 2/3

重点取り組みと成果	・ITU-T SG20に向けた、IoT・スマートシティに関する、国際標準への提案活動の推進。 ・ITU-T SG20における標準化動向の調査および、対応・対策 (主要国の動向等) ・ITU-T SG20の標準化プロモーション、専門委員会の委員募集			
主な活動項目	概況指標	2020年度目標 (当初計画時)	2020年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	2	5	
	外部会合への 参加・連携状況	ITU-T SG20会合 2020年7月	ITU-T SG20会合 2020年7月、11月	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準			
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	TS: 回 TR: 回	TS制定 TR制定:	
	セミナー	TTCセミナー IoT・スマートシティワークショップ 第2回 (テーマ候補: スマートシティ事例、)	・TTCオンラインセミナー (1月12日開催) 「IoTスマートシティに関わる標準化・技術動向～ 日欧の開発状況～」	
④ プロモーション 普及推進	記事投稿、講演会	TTCLレポート2件 (会合報告、セミナー報告)	TTCLレポート活動報告 2件	

中期標準化戦略（2020年度重点取り組みと活動報告）		専門委員会・AG名	ICTと気候変動SWG	2/3
重点取り組みと成果	日本としては引き続き、気候変動への適応策、ICT持続可能評価、エネルギー効率測定法に関わるテーマを中心に、標準化対応および成果普及を重点的に進めることとし、国内の省資源化事例1件を寄書化した。			
主な活動項目	概況指標	2020年度目標（当初計画時）	2020年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	0件	1件	
	外部会合への参加・連携状況	SG5会合：5月 SG5 WP2会合：10月	SG5会合：3月（2020） SG5 WP2会合：10月	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準			
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	TS： 0回 TR： 0回	TS： 0回 TR： 0回	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	セミナー 1回（R2/3Q） （親委員会に協力する形で実施）	0回	
	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告	TTCLレポート活動報告	

中期標準化戦略（2020年度重点取り組みと活動報告）		専門委員会・AG名	AI活用専門委員会	2/3
重点取り組みと成果	<ul style="list-style-type: none"> AI適用時の品質・信頼性・説明責任について、委員会活動テーマの範囲におけるあるべき姿の検討を行った。 各SDOにおける検討状況情報を共有した。 専門委員会開催実績：11回 			
主な活動項目	概況指標	2020年度目標（当初計画時）	2020年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	-	-	
	外部会合への参加・連携状況	必要に応じて	-	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件（予定しない）	-	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件（予定しない）	0件/1件/0件 ・AIの品質・信頼性・説明責任に関するTRの1版を作成。（3月末制定予定）	
③ ダウンストリーム	数	-（予定しない）	-	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	AI活用に関するセミナーまたは、ワークショップの開催	-	
	記事投稿、講演会	必要により検討	-	

中期標準化戦略 (2020年度重点取り組みと活動報告)		専門委員会・AG名	oneM2M	2/3
重点取り組みと成果	<ul style="list-style-type: none"> oneM2M仕様書の適時ダウンストリームの実施 (Release4策定時 (2021年1Q) に速やかに対応予定) oneM2Mの次期仕様であるRelease4策定に向けた積極的寄与 (日本からの寄与文書提出の促進) 			
主な活動項目	概況指標	2020年度目標 (当初計画時)	2020年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	各IMとして提出するため目標設定はしないが、日本勢として積極的な寄与を呼びかける	KDDI、日立から20件以上の寄与文書の提出を行った。	
	外部会合への参加・連携状況	TP会合 (2020年4月、7月、10月、11-12月、2021年2月、計5回予定)	oneM2M : TP会合 (2020年4,7,9,11月に参加、2021年1月に参加予定)	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件	0件	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	現在、Release4策定中であるが、2021年1QにそのRatificationが予定されているので、それ以降にダウンストリームを行う予定 (2021年度予定) TS : ?回 TR : ?回	TS制定: 0件 TR制定: 0件	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	年度内にRelease4策定が終了したら、Release4セミナーを実施する スマートシティ、3GPP連携、IoTエリアネットワークなどをテーマとした他専門委員会と合同のセミナー開催を検討	0件	
	記事投稿、講演会	TTCLレポート執筆、講演会への講師としての参加	0件	

中期標準化戦略 (2020年度重点取り組みと活動報告)		専門委員会・AG名	セキュリティ	2/3
重点取り組みと成果	<ul style="list-style-type: none"> IoT、ITS、DLT、5G、ID認証、情報セキュリティマネジメント、QKD、クラウド等の今後展開が加速すると考えられる分野に対して、5G関連寄書1件、ITS関連寄書3件、情報セキュリティマネジメント関連に4件、QKD関連に10件、クラウド関連に1件の寄書を提出。 SG17の取り組みの活性化と新規案件への対応を目的として課題構成とマニフェスト修正に関する3件の寄書を提出し、採用。 IoT・スマートシティ専門委員会、コネクテッド・カー専門委員会、Network Vision専門委員会等、他の専門委員会、及び、外部の活動との連携を実施した。ITSに関するソフトウェア更新の勧告 (X.1373) の改定作業については、コネクテッド・カー専門委員会の仲介により3J (自技会、自工会、JASPAR) と連携し、自動車業界側のコメントを反映した寄書を提出。 			
主な活動項目	概況指標	2020年度目標 (当初計画時)	2020年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	-	<ul style="list-style-type: none"> 12件 (SG17 2020年3月会合) 10件 (SG17 2020年8~9月会合) 	
	外部会合への参加・連携状況	<ul style="list-style-type: none"> CJK Information Security WG : 2020年7月会合 (韓国) SG17 : 2020年8月会合 CJK Information Security WG : 2021年1月会合 (中国) SG17 : 2021年3月会合 	<ul style="list-style-type: none"> 2回予定されていたCJK Information Security WG会合は、コロナ禍のため中止。 2020年3月のSG17会合は、28名のリモート参加。 2020年8~9月のSG会合は、30名のリモート参加。 	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件 サイバーセキュリティ関連で標準化が必要と考えられる勧告の有無について検討する。	0件 2020年度はダウンストリーム以外のTTC標準化案件は無し。	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	0件 X.1373 (X.itssec-1) については、関連標準化組織の動向等を見ながら標準化を検討する。 X.itssec-1: Secure software update capability for ITS communication devices	1件 ITU-T X.1710 (Security framework for quantum key distribution networks) をJT-X1710としてTTC標準化。 X.1373 (X.itssec-1) は、改訂作業中。	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	セキュリティに関するセミナー開催 (2020/2Q)	<ul style="list-style-type: none"> 3月に5Gセキュリティのセミナーを実施予定であったがコロナ禍で中止。 10月にIETF、W3C共催TTCオンラインセミナー「電子商取引における最新のセキュリティ関連動向」の開催に協力。 	
	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告、他	ITU-T SG17 第7回会合に関して結果報告。(TTCLレポート2020年7月号)	

中期標準化戦略（2020年度重点取り組みと活動報告）

		専門委員会・AG名	プラットフォーム部門 企業ネットワーク専門委員会	2/3
新テーマ及び重点取り組み	<ul style="list-style-type: none"> デジタルトランスフォーメーション時代を支える次世代ネットワークの監視・管理技術の調査・検討。 消防指令システム仕様書の改定（新技術の取り込み、方式の統一化）。 網管理、移動通信網マネジメント専門委員会等、ネットワーク管理と関連するグループとの情報交換の推進。 			
主な活動項目	概況指標	2020年度目標（当初計画時）	2020年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	-	-	
	外部会合への参加・連携状況	-	-	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件	0件	
	TS/TR/SR	1件/1件/1件 ・消防指令システム（仕様書改定） ・YANGに関する技術レポート ・新規項目の調査レポート	1件/1件/1件 ・消防指令システム（仕様書改定）:4Q ・YANGに関する技術レポート:4Q ・エッジコンピューティングの調査レポート:4Q	
③ ダウンストリーム	数	0件	0件	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	-	-	
	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告	-	

中期標準化戦略（2020年度重点取り組みと活動報告）

		専門委員会・AG名	信号制御専門委員会	2/3
重点取り組みと成果	<p>SIP SWG 国内ALL-IP化対応の標準(IMS事業者網間相互接続インターフェース等)の改訂 ① 3GPP等の標準化動向/PSTNマイグレーションに係る意識合わせの場の議論動向に留意しながら、IMS事業者網間インターフェースの検討を進めた。 ② 委員からの標準化検討要望への対応を行った。 ③ CJK IMT-WG、GSMA等との連携、情報交換。</p> <p>NGN信号アップストリーム SWG ① SG11：7月会合、12月会合、3月会合へのアップストリーム活動(国内寄書のサポート)を行った。</p>			
主な活動項目	概況指標	2020年度目標（当初計画時）	2020年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数		2件 20年度にApprovedした勧告 Q.4062（Framework for IoT Testing）	
	外部会合への参加・連携状況	SG11:7月、12月、3月（予定）	SG11:7月、12月、3月（予定）	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	3件 JJ：2件（JJ-90.27v7、JJ-90.30v8、JJ-90.30(E)v8）	5件 JJ:5件 （JJ-90.27v7、JJ-90.28v3、JJ-90.30.v8、JJ-90.30(E)v8、JJ-90.31v5、JJ-90.31(E)v5、JJ-90.32.v3、JJ-90.32(E)v3）	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	1件/0件/0件（TS-1018v6）	
③ ダウンストリーム	数	-	1件 ・JT-Q4062（IoT試験フレームワーク）	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	IP相互接続に関するセミナー（2020/5月）	IP相互接続に関するセミナー（2020/7月）	
	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告 SG11 会合報告	標準類制定状況（7月号 No.35、1月号 No.35） SG11 7月会合報告（10月号 No.35）	

中期標準化戦略（2020年度重点取り組みと活動報告） 専門委員会・AG名 網管理専門委員会・SWG1501 2/6

重点取り組みと成果	① ITU-T SG2におけるクラウドベースのネットワーク管理機能アーキテクチャに関する勧告 (ITU-T M.3071) のTTC標準化を行う方針で関連するTTC専門委員会の合意を経て、TTC標準化に向けた翻訳作業を実施。並行に、SG2のドラフト勧告の動向を把握 ・プロモーション活動として、網管理の最新動向に関するセミナー開催を検討実施（次年度開催に向け継続検討）			
主な活動項目	概況指標	2020年度目標（当初計画時）	2020年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	-	-	
	外部会合への参加・連携状況	・TMForum関連会合（Action Week、Digital Transformation World等） 対応者との連携 ・他関連専門委員会（AI活用専門委員会等）との連携	・会合にて、TMForum Digital Transformation World 2020の状況を共有、議論予定 ・AI活用、アクセス網、網管理にて情報交換を予定	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	-	-	
	TS/TR/SR	・ITU-T SG2のIntelligent network management 関連のドラフト勧告の動向調査	・会合にて、クラウドとSDNベースネットワークの管理に関する内容（M.3373）が制定予定であることを共有	
③ ダウンストリーム	数	・1件（M.3071「クラウドベースのネットワーク管理機能アーキテクチャ」のダウンストリーム）	・1件（M.3071「クラウドベースのネットワーク管理機能アーキテクチャ」のダウンストリーム）	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	・2020年度中に1回開催	・SWG1502と連携したセミナー開催を検討も、次年度開催に向け継続検討	
	記事投稿、講演会	・TTCLレポート投稿	・ダウンストリームの内容（M.3071）を踏まえてTTCLレポートに投稿予定	

中期標準化戦略（2020年度重点取り組みと活動報告） 専門委員会・AG名 網管理専門委員会・SWG1502 5/6

重点取り組みと成果	・3GPJ-201.01にも関連するITU-T勧告G.107シリーズ、P.863や、映像配信サービスの品質評価技術である勧告P.1201やP.1203の標準化動向や技術拡張に引き続き積極的に寄与。 ・今後、発展が期待される5G/IoT/VR映像に対する品質検討の動向を把握。			
主な活動項目	概況指標	2020年度目標（当初計画時）	2020年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	1件	3件	
	外部会合への参加・連携状況	ITU-T SG12：4月	ITU-T SG12：4月、9月、1月	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	1件（JJ-201.11）	1件（JJ-201.11）	
	TS/TR/SR	3件（JJ-201.11関連）/0件/0件	3件（JJ-201.11関連）/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数		TS制定（上記のJJ-201.11関連） JT-G107.1_v3 JT-G107.2_v1 JT-P863_v3	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	継続検討	次年度開催に向け継続検討	
	記事投稿、講演会	TTCLレポートにSG12会合の結果報告の記事を投稿	JJ-201.11及びTS3件の改訂についてTTCLレポートで報告	

中期標準化戦略（2020年度重点取り組みと活動報告）		専門委員会・AG名	番号計画専門委員会	2/3
重点取り組み	①ITU-T SG2では番号ポータビリティ、E.212勧告改訂、番号誤用・発番号勧告改訂、IoT番号・識別子、IoTとローミング(領域外使用)、E.118勧告、OTT(Over The Top)番号の議論があり、個々の課題に関するラポータ合会に参加。 特に番号ポータビリティについては、積極的に寄書提案を行い、勧告の改訂(E.164 Supplement 2)ならびに国内TTC標準の改訂実施。 ②電気通信番号に関する検討の相互理解を深めるため欧州ECC-NaNの合会に参加、今期は合同での国内セミナー実施を見送ったものの、国内プロモーション活動としてTTCLレポート、ITUジャーナル・研究会への投稿を実施。			
主な活動項目	概況指標	2020年度目標（当初計画時）	2020年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	2件	1件	
	外部会合への参加・連携状況	<ul style="list-style-type: none"> ECC-NaN全体会合(5月、10月) ITU-T SG2：6月会合 ECC-NaN番号ポータビリティ/スイッチング・番号への信頼PT会合(6月) 米国番号規制組織(iconectiv, NANPA, Verizon等)との意見交換 ECC-NaN将来番号PT会合(9月) IETF108(7月：マドリッド)：未定 	<ul style="list-style-type: none"> ECC-NaN全体会合参加(5、12月) ECC-NaN2プロジェクト会合参加(6、10月) SG2第6回会合参加(5～6月) SG2第7回会合参加(9月) SG2第8回会合参加(12月) SG2 Q1ラポータ合会参加(4、5、7、8、10、11月に課題検討促進のため複数回中間会合開催) 	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件	1件 第6回SG2会合(年5～6月)での番号ポータビリティ勧告(E.164 Supplement 2)の改訂に基づきJT-E164 Supplement 2の改訂を実施	
	TS/TR/SR	0件/1件/0件 ※実施候補：ECCLレポートの翻訳（候補：番号への信頼）	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	0件	0件	
④ プロモーション 普及推進	セミナー、記事投稿、講演会	番号政策・将来番号方式等に関するセミナー等の企画によるプロモーションの実施	未実施	
		適宜、TTCLレポート、ITUジャーナル等への投稿による普及活動を予定	TTCLレポート(7月号)、ITUジャーナル(7、12月号)、ITU研究会(7月)への投稿による普及活動を実施	

中期標準化戦略（2020年度重点取り組みと活動報告）		専門委員会・AG名	Network Vision専門委員会	2/3
重点取り組みと成果	専門委員会 <ul style="list-style-type: none"> CJK NSA-WGの対処に際して、必要に応じて他専門委員会、AGと連携を行った。 NGNアップストリーム SWG <ul style="list-style-type: none"> ITU-T SG13会合への事前対処方針審議並びに、寄書審議を実施し、TTCメンバーからの提案調整を行った。 QoSアーキテクチャ SWG <ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて、NGNの品質情報転送機能の実現方法の標準化に関して、関連委員会と情報交換を行った。 クラウドSWG <ul style="list-style-type: none"> クラウド、SDN/NFV関連の技術動向・標準化動向について調査及び、各専門委員会と連携してNFV関係活動の取り組みに留意した。 NetSoft SWG <ul style="list-style-type: none"> ネットワークソフト化、QKDN関連技術課題の検討/寄書作成を行い、SG13へのアップストリーム活動を行った。 			
主な活動項目	概況指標	2020年度目標（当初計画時）	2020年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	-	12件 20年度にApprovedした勧告 Y.3800“Overview on networks supporting quantum key distribution - Corrigendum 1” Y.3801“Functional requirements for quantum key distribution networks”	
	外部会合への参加・連携状況	SG13:7月会合	SG13:7月会合、12月会合	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件	0件	
	TS/TR/SR	0件/1件/0件 QKDに関するTRを作成	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	-	2件 ・JT-Y3800（量子鍵配送ネットワークの概要） ・JT-Y3801（量子鍵配送ネットワークの機能要求条件）	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	-	-	
	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告 SG13 7月会合報告	SG13 7月会合報告（10月号 No.35）	

中期標準化戦略（2020年度重点取り組みと活動報告		専門委員会・AG名	移動通信網マネジメント	2/3
重点取り組みと成果	<ul style="list-style-type: none"> TTC内の3GPP専門委員会、oneM2M専門委員会、国内SDOのARIB、海外SDOのATIS、CCSA、ETSI、TSDSI、TTA、国際標準化団体の3GPP、3GPP2の間に立ち、5Gを中心とした標準化を円滑に進めるに当たっての以下のようなアクションを実施。 ARIB及びTTC 3GPP専門委員会と共催で3GPPで仕様が完成した3GPP Rel-16の仕様概要、実現ソリューションと産業連携に関する解説セミナーを10月に開催。約300名の盛況な参加者を通し有益なフィードバックを得た。 3GPP会合のホストを各国SDO横断で検討するMHSGへの参画を19年9月より開始。ARIB/TTCからも寄書入力を実施し、欧州・北米・アジアで均等に会合を開催することとなった。アジア内で各国がホストする会合数の配分に関する協議が進行中。 			
主な活動項目	概況指標	2020年度目標（当初計画時）	2020年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	0件	0件	
	外部会合への参加・連携状況	<ul style="list-style-type: none"> 3GPP: TSG Plenary (4回), PCG/OP会合(2回) 3GPP2: SC/OP会合 (2回: Web会議開催未定) 	<ul style="list-style-type: none"> 3GPP: TSG Plenary (4回; 6月、9月、12月、3月) PCG/OP会合(2回; 4月、10月) 3GPP2: SC/OP会合(Web会議; 2020年は開催なし) 	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件	0件	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	TS: 0回 TR: 0回	TS制定: 0回 TR制定: 0回	
	セミナー	3GPP専門委員会と連携して、5G標準化の最新動向(Rel-16)を解説するセミナーを実施	2020年10月27(火) ARIB・TTC共催セミナー「TTC オンラインセミナー 5G 最新機能 (3GPP リリース 16) ～仕様概要、実現ソリューションと産業連携」を開催	
④ プロモーション 普及推進	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告、積極的に関連業界誌等への寄稿を検討	特になし	

中期標準化戦略（2020年度重点取り組みと活動報告		専門委員会・AG名	3GPP専門委員会	2/3
重点取り組みと成果	<ul style="list-style-type: none"> 3GPP-TSGを中心とした移動通信の国際標準化活動に関する情報共有と意見交換及び関連技術議論を実施。 3GPPで承認された仕様を、年4回(※1)TTC標準として制定（ダウンストリーム活動）-約1,100件の仕様のダウンストリームを実施。 ※1: 7月、10月、12月、3月(予定) 年4回の専門委員会会合を開催し3GPP仕様書ダウンストリーム結果の承認、及び、TSG会合結果を基に主要課題等の議論を実施。 ARIBと共催で、5Gサービスの普及を目的にTTCオンラインセミナー“5G最新機能/Rel-16仕様概要”を移動通信網マネジメント専門委員会と合同で開催し、約300名がオンラインで参加。仕様概要に加え、通信業界以外の国内企業に3GPP活動への参加呼びかけを実施。 			
主な活動項目	概況指標	2020年度目標（当初計画時）	2020年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	-	-	
	外部会合への参加・連携状況	3GPP	3GPP TSG会合(7, 9, 12月及び3月)	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準			
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	TS/TR 4回(四半期毎) Q1ダウンストリームから作業の対象に Rel-16が追加となる予定	ダウンストリーム制定 7月16日制定 (TS 23件, TR 0件) 10月2日制定 (TS 859件, TR 35件) 12月22日制定 (TS 247案件, TR 0件) 3月下旬作業実施～4月制定予定 (約250案件を想定)	
	セミナー	<ul style="list-style-type: none"> 移動通信網マネジメント専門委員会と連携して5G Rel-16セミナー開催。 TTCで初回Rel-16ダウンストリーム作業完了以降のタイミングで、Rel-16特長機能を紹介～5Gサービスの普及を促進。 	10月27日 ARIB・TTC共催セミナー「5G最新機能 (3GPPリリース16) ～仕様概要、実現ソリューションと産業連携～」を開催	
④ プロモーション 普及推進	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告、積極的に関連業界誌等への寄稿を検討する。	セミナー模様をTTCLレポート2021年1月号掲載予定。	

中期標準化戦略（2020年度重点取り組みと活動予定）		専門委員会・AG名	IoTエリアネットワーク	2/3
新テーマ及び重点取り組み	① IoTを活用したインフラモニタリングで利用するセンサーデバイスの情報モデル標準化検討（～2020年度）・・・別紙3/3 ② タイムリーな既存TRの改定や新規作成を実施 ③ IoT推進フォーラムの技術・標準化分科会、およびスマートコミュニティアライアンスの通信IF-SWGとの連携継続 ④ SG15合同アップストリーム会合、およびIoT/SC&Cアドホック会合に参加し、アップストリーム活動と情報共有実施			
主な活動項目	概況指標	2020年度目標（当初計画時）	2020年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	-	4件（SG20:7月、11月、2月、予定含む）	
	外部会合への参加・連携状況	・SG15：7月会合 ・SG20：4月会合	・SG15：9月会合 ・SG20：7月会合、中間会合(11,2月) ・SG5：10月会合	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	新規1件、改定1件 ・インフラモニタリング用センサー共通情報モデル（別紙3/3参照） ・JJ-300.30（橋梁モニタリング用加速度センサの情報モデル及び低消費電力無線通信における動作）の改定	新規0件、改定0件 ・「インフラモニタリングにおけるIoT情報モデルの標準化」について、標準ドキュメント作成予定（制定は2021年度予定） ・JJ-300.30改訂は見送り、上記標準に含める	
	TS/TR/SR	0件/3件/0件 ・2019年度からの継続案件(TR-1073, 1076)の検討・制定、及び必要に応じて関連TRの改定や新規作成を実施 ・JJ-300.00に関連する評価ツール及び技術解説文書を新規に作成 ・TR-1082ガイドラインSPE_P-MP対応追記 ・IoT向けSPEケーブル仕様化検討 ・IoT機器の立ち上げや安定運用に関する調査	0件/4件/0件（2020年度未完了予定件数） ・TR-1064の改定を実施（TR-1064v3） ・TR-1073:HTTPv3実装ガイドライン ・TR-1086:HTTP評価ツール解説 ・TR-1082ガイドライン改定中 AWG24ケーブル・コネクタ仕様要件定義（2020年度未完了予定） SPE_P-MP対応についてはIEEEの標準化状況により次年度にシフト	
③ ダウンストリーム	数	2件 W3C Web of Things関連（Architecture, Thing Description）	TS制定 TR制定: 0件 ・W3C Web of Things関連は継続中	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	・IoTエリアネットワーク関連の技術/標準化動向に関するセミナー開催(2020/6予定)	・IoTエリアネットワーク関連の技術/標準化動向に関するセミナー開催(2020/10/19開催)	
	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告、他	TTCLレポート活動報告、ITUジャーナル他	

中期標準化戦略（2020年度重点取り組みと活動予定）		専門委員会・AG名	伝送網・電磁環境専門委員会	2/3
新テーマ及び重点取り組み	【SWG1301】 ・国内需要の高いイーサネットのOAM,プロテクション(JT-G8031,JT-G8032)のTTC標準改定。AI/機械学習技術の光伝送網適用をSG15国際標準化新規課題として検討開始提案。 【SWG1302】 ・5G、IoT等収容伝送、超高速伝送のためのOTN、高精度時刻同期技術に関する国際標準化情報共有と標準化戦略検討。時刻同期関連文書の技術レポート化(5GおよびGNSS)。 【SWG1305】 ・SG5においてソフトウェア対策デバイス要件およびHEMP試験法の勧告化。K.132のTTC標準化。ソフトウェア対策技術・標準の普及推進、IEC、CIAJ等関連団体との幅広い連携、活動強化。			
主な活動項目	概況指標	2020年度目標（当初計画時）	2020年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数		ITU-T SG15 WP3 (2020年9月): 4件 ITU-T SG5 WP1 (2020年5月): 9件 ITU-T SG5 WP1 (2020年10月): 8件	
	外部会合への参加・連携状況	ITU-T SG15 WP3 (2020年9月) ITU-T SG5 WP1 (2020年3月)	ITU-T SG15 WP3 (2020年9月) ITU-T SG5 WP1 (2020年5月) ITU-T SG5 WP1 (2020年10月)	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件		
	TS/TR/SR	0件/2件/0件 TR-Gctn5G (2020/4Q) 【SWG1302】 TR-GNSS (2020/4Q) 【SWG1302】	0件/0件/0件 JT-G.709.1（フレキシブルOTN短距離インタフェース）に変更して作成中（2021年度） TR-GNSS（GNSSの基礎技術）継続作成中（2021年度）	
③ ダウンストリーム	数	4件 JT-G8031改定 (2020/1Q) 【SWG1301】 JT-G8032改定 (2020/2Q) 【SWG1301】 JT-Y1731改定 (2020/4Q) 【SWG1301】 JT-K132策定 (2020/3Q) 【SWG1305】	3件 JT-G8031改定 (2020/2Q) 【SWG1301】 JT-G8032改定 (2020/2Q) 【SWG1301】 JT-Y1731改定 (2020/4Q) 【SWG1301】 JT-K132策定 (2020/4Q) 【SWG1305】	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	セミナー 2020/1Q		
	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告 【SWG共通】	TTCLレポート7月号 SG5会合報告 TTCLレポート1月号 SG5、SG15会合報告	

中期標準化戦略（2020年度重点取り組みと活動予定）		専門委員会・AG名	アクセス網専門委員会	2/3
新テーマ及び重点取り組み	【SWG2401】 ・アクセス網を媒体に関係なくメタル、光ファイバによる無線区間以外の有線ネットワーク全般とらえ、特に次世代移動体網のフロントホール/バックホールにおけるアクセス網の問題点を検討し、必要に応じてITU-T SG15 Q2で議論されている次世代光アクセスシステムへのアップストリーム活動の実施。 ・次世代光アクセス網SWGでは、SDOsにおける25G/50Gの次世代光アクセス技術を調査し、調査報告書を作成。 ・アクセスシステムの仮想化プラットフォームのメリット、ユースケースなどについてSDOs等での検討状況の調査報告書を作成。 【SWG2402】 ・ハイブリッドアクセス網SWGでは、G.fast 等の新規技術の調査するとともに海外の導入事例等の調査継続。また、スペクトル管理標準に関しては新たな課題の出現時は個別に対応。 【SWG共通】 ・データセンターにおける超大容量・高速化に伴う光ケーブル・コネクタ、高圧直流電源化や、ノードの仮想化・ソフト化に伴う新たなアクセス網技術の適用分野として、データセンターに関する標準化検討の必要性について検討し、技術レポートを作成。本検討会と他の専門委員会との連携の実施。ネットワーク仮想化については、Network Vision専門委員会と協議。			
主な活動項目	概況指標	2020年度目標（当初計画時）	2020年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数		ITU-T SG15 WP1（2020年9月）：4件	
	外部会合への参加・連携状況	ITU-T SG15 WP1（2020年9月）	ITU-T SG15 WP1（2020年9月）	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準			
	TS/TR/SR	0件/0件/1件 SDOsにおける次世代光アクセス技術調査報告書【SWG2401】	0件/0件/0件 2020年11月のセミナーにて、各分野の標準化状況について報告済み【SWG2401】 データセンターの構築・運用課題に関する調査検討会_調査報告書	
③ ダウンストリーム	数	0件	0件	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	TTCセミナー（2020年4Q）【SWG共通】	TTCセミナー「5Gモバイル向け次世代光アクセスの最新技術・標準化動向」（2020年11月）	
	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告【SWG共通】	TTCLレポート1月号 SG15会合報告	

中期標準化戦略（2020年度重点取り組みと活動報告）		専門委員会・AG名	トランスポート・アクセス・エリアNW部門 光ファイバ伝送専門委員会	2/3
重点取り組みと成果	・光ファイバ試験法（G.650.1）改訂、相互接続海底システム（G.977.1）勧告化、関連寄書の投稿（SG15 2020年9月） ・JT-G977.1（端局間DWDM光増幅中継光海底システム）新規制定、JT-G654（低損失光ファイバ）改訂、JT-G650.1（線形パラメータ試験法（第1版））新規制定（2020/4Q） ・システムインタフェースの標準化動向に関するセミナー開催（2020/4Q） ・SDM技術に関するアップストリーム活動による新規技術レポート審議の活性化			
主な活動項目	概況指標	2020年度目標（当初計画時）	2020年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	-	ITU-T SG15 WP2（2020年9月）：6件	
	外部会合への参加・連携状況	ITU-T SG15 WP2（2020年10月） IEC TC86国内委員との連携	ITU-T SG15 WP2（2020年9月）	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件	0件	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	3件 ・JT-G654（2020/4Q） ・JT-G650.1第1版（2020/4Q） 【SWG2002】 ・JT-G977.1（2020/4Q） 【SWG共通】	3件 ・JT-G977.1制定（2020/4Q予定） 【SWG共通】 ・JT-G654改訂（2020/3Q） ・JT-G650.1第1版（2020/4Q予定） 【SWG2002】	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	TTCセミナー ・システムインタフェースの標準化動向など（2020/4Q） 【SWG共通】	TTCセミナー ・システムインタフェースの標準化動向など（2021年度に繰り越し） 【SWG共通】	
	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告【SWG共通】	TTCLレポート1月号（SG15 9月会合報告） 【SWG共通】	

中期標準化戦略（2020年度重点取り組みと活動報告）		専門委員会・AG名	国際連携AG(含TSAG対応TF)	2/3
重点取り組みと成果	<ul style="list-style-type: none"> ITU-T新会期における新規研究課題、体制構築およびWTSA決議、Aシリーズ勧告の制改訂に向けたAPT WTSA準備会合(第2回～第4回)における日本寄書提出、並びに国内議論を推進、APT共通提案のとりまとめへの貢献 ITU-T新会期における新規研究課題、体制構築およびWTSA決議、Aシリーズ勧告の制改訂に向けたITU-T TSAG会合(9月、1月)における日本寄書提出、並びに国内議論を推進 			
主な活動項目	概況指標	2020年度目標（当初計画時）	2020年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	-APT WTSA準備会合（2件）、 TSAG(2件)	-APT WTSA準備会合(6件)、TSAG会合(4件)	
	外部会合への参加・連携状況	APT WTSA準備会合 ITU-T TSAG会合	APT WTSA準備会合(中間会合含む)（5月、6月(中間)、7月、8月(中間)、10月(中間)、11月) ITU-T TSAG会合（9月、1月）	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	-	-	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	-	-	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	TTC大使報告会	未実施	
	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告	APT WTSA準備会合報告(3回) ITU-T TSAG会合報告(2回)	

中期標準化戦略（2020年度重点取り組みと活動報告）		専門委員会・AG名	技術調査AG	2/3
重点取り組みと成果	<ul style="list-style-type: none"> 最新の技術動向を考慮して調査対象フォーラムの見直しを実施 調査項目や分析手法などを再検討し、報告内容をより有意義な内容に改訂 			
主な活動項目	概況指標	2020年度目標（当初計画時）	2020年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	なし	なし	
	外部会合への参加・連携状況	なし	なし	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準			
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	TS： 回 TR： 回	TS制定 TR制定：	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	・企画戦略委員会中間報告	・企画戦略委員会報告(12月)	
	記事投稿、講演会	・フォーラム調査報告書 第27版 ・TTC Report 投稿	以下はQ4実施予定 ・フォーラム調査報告書 第27版 ・TTC Report 投稿	

寄書審議状況

専門委員会	寄書数	提案先
マルチメディア応用	19 件	ITU-T SG16(Multimedia) (IPTV, ILE, e-health, アクセシビリティを含む)
コネクテッド・カー	6 件	CITS(Collaboration on ITS Communication Standards), ASTAP,ITU-T FG-VM (Focus Group on Vehicular Multimedia) , ITU-T SG16
IoT・スマートシティ	2 件	ITU-T SG20(IoT, smart cities & communities)
ICT と気候変動 SWG	1 件	ITU-T SG5 (Environment and circular economy)
セキュリティ	7 件	ITU-T SG17(Security)
番号計画	1 件	ITU-T SG2(Operational aspects)
信号制御	1 件	ITU-T SG11 (Protocols and test specifications)
Network Vision	18 件	ITU-T SG13(Future networks (& cloud))
伝送網・電磁環境	21 件	ITU-T SG15 (Transport, access and home) , ITU-T SG5 (Environment and circular economy)
アクセス網	4 件	ITU-T SG15
光ファイバ伝送	6 件	ITU-T SG15
国際連携 AG	10 件	ITU-T TSAG, WTSA 準備会合

TTC 標準の制改定状況

専門委員会	制改定年月日 (標準化会議)	制改定した標準の番号とタイトル
セキュリティ	2021.2.18 (第 129 回)	JT-X1710 (新規 第 1 版) 量子鍵配送ネットワークのセキュリティフレームワーク
信号制御	2020.5.21 (第 126 回)	JJ-90.27 (改定 第 6 版) 着信転送サービス(CDIV)に関する NNI 仕様
		JJ-90.28 (改定 第 2 版) 緊急通報呼に関する NNI 仕様
		JJ-90.30 (改定 第 7 版) IMS 事業者網間の相互接続共通インタフェース
	2020.11.12 (第 128 回)	JJ-90.27 (改定 第 7 版) 着信転送サービス(CDIV)に関する NNI 仕様
		JJ-90.28 (改定 第 3 版) 緊急通報呼に関する NNI 仕様
		JJ-90.30 (改定 第 8 版) IMS 事業者網間の相互接続共通インタフェース
		JJ-90.31 (改定 第 5 版) キャリア ENUM の相互接続共通インタフェース
		JJ-90.32 (改定 第 3 版) SIP ドメイン解決のための DNS 相互接続共通インタフェース
	2021.2.18 (第 129 回)	JT-Q4062 (新規 第 1 版) IoT 試験フレームワーク
	網管理	2020.8.27 (第 127 回)
JT-G107.1 (改定 第 3 版) <簡略標準> 広帯域 E-model		
JT-G107.2 (新規 第 1 版) <簡略標準> フルバンド E-model		
JT-P863 (改定 第 3 版) <簡略標準> POLQA, 受聴品質の知覚的な客観評価法		
2021.2.18 (第 129 回)		JT-M3071 (新規 第 1 版) クラウドベースネットワーク管理機能アーキテクチャ
番号計画	2021.2.18 (第 129 回)	JT-E164 Supplement 2 (改定 第 2 版) 国際公衆電気通信番号計画 補足文書 2: 番号ポータビリティ

Network Vision	2020.11.12 (第 128 回)	JT-Y3800 (新規 第 1 版) 量子鍵配送ネットワークの概要
		JT-Y3801 (新規 第 1 版) 量子鍵配送ネットワークの機能要求条件
伝送網・電磁環境	2020.5.21 (第 126 回)	JT-K78 (新規 第 1 版) 通信センタにおける高々度電磁パルスに対するイミュニティガイド
		JS-CISPR-35 (新規 第 1 版) マルチメディア機器の電磁両立性 -イミュニティ要求事項-
		JT-G873.2 (新規 第 1 版) ODUk 共有リングプロテクション
	2020.11.12 (第 128 回)	JT-G8031 (改定 第 2 版) イーサネットリニアプロテクション切替
JT-G8032 (改定 第 2 版) イーサネットリングプロテクション切替		
光ファイバ伝送	2020.5.21 (第 126 回)	JT-G698.2 (新規 第 1 版) 単一チャネル光インタフェースを有する光増幅 DWDM アプリケーション
	2021.2.18 (第 129 回)	JT-G654 (改定 第 2 版) カットオフシフトシングルモード光ファイバ及びケーブルの諸特性

(1)仕様書の制改定状況

専門委員会	制・改・廃 年月日	概 要	仕様書 (件)		
			新規	改定	廃止
企業ネットワーク	2020.4.2	TS-1023 (新規 第1版) 消防指令システム - 消防救急無線間共通 インタフェース仕様	1	0	0
信号制御	2020.5.21	TS-1018 (改定 第5版) CUG/PNP に関するインタフェース技術仕 様	0	1	0
	2020.11.12	TS-1018 (改定 第6版) CUG/PNP に 関するインタフェース技術仕様	0	1	0
マルチメディア応 用	2020.6.5	TS-1024 (新規 第1版) 遠隔手話通訳サービス・システム仕様書	1	0	0
3GPP	2020.4.16	Release10~15 TSG プレナリ会合承認分	122	0	0
	2020.7.16	Release15 TSG プレナリ会合承認分	23	0	0
	2020.10.2	Release8~16 TSG プレナリ会合承認分	855	0	0
	2020.12.8	Release10~16 TSG プレナリ会合承認分	252	0	0

(2)技術レポートの制改定状況

専門委員会	制・改・廃 年月日	概 要	技術レポート(件)		
			新規	改定	廃止
IoT エリアネット ワーク	2020.11.10	TR-1064 (改定 第3版) IoT エリアネッ トワーク向け伝送技術の概説	0	1	0
	2021.3.2	TR-1073 (新規 第1版) JJ-300.00 機能実装ガイドライン~非 IP 及 び非イーサネット通信技術への対応~	1	0	0
	2021.3.2	TR-1086 (新規 第1版) HTIP 評価ツール及び構築ガイドライン	1	0	0
3GPP	2020.4.16	Release15	1	0	0
	2020.10.2	Release16 TSG プレナリ会合承認分	39	0	0

・ 標準類ダウンロード状況（専門委員会別 2020/4-2021/3）

順位	専門委員会	DL回数 合計	DL 標準数	TOP1	DL 回数	TOP2	DL 回数	TOP3	DL 回数
1	信号制御	31756	277	JJ-90.30	3634	TR-1007	2532	JT-Q931	2010
2	伝送網・電磁環境	24392	90	JT-Y1731	2188	TR-G8275.1	1642	JT-I430	1534
3	3GPP	13254	2962	TS-3GA- 29.274(Rel11)v11. 9.0	138	TS-3GA- 23.501(Rel15)v15. 3.0	130	TS-3GA- 29.230(Rel11)v 11.9.0	90
4	マルチメディア応用	12819	143	JT-T30	1807	TS-1024	1481	TR-ITEF- RFC3984	653
5	アクセス網	10632	37	TR-1079	8687	JT-G961	356	TS-1000	218
6	企業ネットワーク	10847	93	TS-1023	2563	JJ-22.11	861	TR-1078	812
7	IoT エリア NW	6584	52	TR-1064	1109	JJ-300.20	829	JJ-300.10	732
8	網管理	6047	91	JT-G652	1642	TR-1054	967	JJ-201.01	641
9	光ファイバ伝送	4732	20	JT-G694.1	731	TR-GSup.39	700	JT-G654	566
10	oneM2M	3051	115	TS-M2M- 0026v3.0.0	121	TS-M2M- 0031v3.0.1	87	TS-M2M- 0034v3.0.1	86
11	コネクテッド・カー	2099	3	TR-1068	2071	TR-1063	25	(空白)	3
12	Network Vison	2026	56	JT-Y1541	264	JT-X25	241	JT-Y1221	171
13	番号計画	2172	16	TR-1070	921	SR-0067	522	TR-1080	278
14	移動通信網 MNG	810	154	JT-Q931-b	97	JP-3GB-N.S0011	35	JT-Q921-b	35
15	セキュリティ	227	5	JT-X1051	170	TR-1047	22	TR-1048	18
16	IoT・スマートシティ	145	2	JT-L1200	104	JT-L1410	41		
	合計	97361	2487						

・ 標準類ダウンロード状況 (TOP20 2020/4-2021/3)

	ドキュメント番号	制定日	専門委員会	タイトル	DL回数
1	TR-1079	2019/5/30	アクセス網	第5世代移動体通信システムのフロントホールにおける光アクセスに関する技術報告書	8687
2	JJ-90.30	2018/8/29	信号制御	IMS事業者網間の相互接続共通インタフェース	3634
3	TS-1023	2020/4/20	企業ネットワーク	消防指令システム-消防救急無線間共通インタフェース仕様	2563
4	TR-1007	2003/3/14	信号制御	Session Initiation Protocol(SIP)に関する技術レポート	2532
5	JT-Y1731	2010/2/24	伝送網・電磁環境	イーサネットのOAM機能とメカニズム	2188
6	TR-1068	2019/10/30	コネクテッド・カー	自動車の遠隔更新技術の標準化動向と実用化課題	2071
7	JT-Q931	1999/4/22	信号制御	ISDNユーザ・網インタフェースレイヤ3仕様	2010
8	JT-T30	2008/5/29	マルチメディア応用	一般交換電話網における文書ファクシミリ伝送手順	1807
9	JT-G652	2018/5/24	網管理	シングルモード光ファイバ及びケーブルの諸特性	1642
10	TR-G8275.1	2017/12/5	伝送網・電磁環境	「ネットワークからフルタイミングサポートでの位相/時刻同期に関する高精度タイム・プロトコルのテレコムプロファイル」の技術レポート	1642
11	JT-I430	2000/2/1	伝送網・電磁環境	ISDN基本ユーザ・網インタフェースレイヤ1仕様	1534
12	TR-G8275.2	2019/3/1	伝送網・電磁環境	「ネットワークから部分タイミングサポートでの位相/時刻同期に関する高精度タイム・プロトコルのテレコムプロファイル」の技術レポート	1528
13	JT-G709	2011/3/1	伝送網・電磁環境	光伝送網のインタフェース	1494
14	TS-1024	2020/6/5	マルチメディア応用	遠隔手話通訳サービス・システム仕様書	1481
15	TR-1064	2020/11/10	IoTエリアNW	IoTエリアネットワーク向け伝送技術の概説	1109
16	JT-G783	2001/4/19	伝送網・電磁環境	SDH多重変換装置の警報系・切替系の動作	1101
17	JJ-90.27	2020/11/12	信号制御	着信転送サービス(CDIV)に関するNNI仕様	980
18	TR-1054	2018/6/1	網管理	IP電話の通話品質測定ガイドライン	967
19	TR-1005	2002/2/20	信号制御	SIGTRAN技術レポート	924
20	TR-1070	2019/2/20	番号計画	NNAIに関するチュートリアル資料_その2	921

TTC主催セミナー・ワークショップ

No	名称	年月日 (参加者数) (TTC 会員外)	関連専門委員会等
1	TTC オンラインセミナー「COVID-19 との闘い: AI・バーチャルパーソナルアシスタント (VPA) の活用」	2020.5.22 (143 名)	企画戦略委員会
2	TTC オンラインセミナー「COVID-19 との闘い: コンタクト・トレーシング・アプリの動向」	2020.6.1 (127 名)	企画戦略委員会
3	【2020 年度情報通信月間参加行事】 TTC オンラインセミナー「CES2020 に見る新たな潮流」	2020.6.24 (180 名)	企画戦略委員会
4	【2020 年度情報通信月間参加行事】 TTC オンラインセミナー「Society5.0 の実現と標準化 IETF×W3C～両者の新たな連携を目指して～」	2020.7.6 (185 名) (TTC 会員外 68 名/57 社)	業務運営連絡会
5	【2020 年度情報通信月間参加行事】 TTC オンラインセミナー「IP 相互接続に係る標準化状況とその進捗について」	2020.7.22 (83 名)	信号制御
6	【2020 年度情報通信月間参加行事】 TTC オンラインアクセシビリティセミナー「放送・通信における情報アクセシビリティの向上 ～緊急災害時の障害者への情報保障を推進するために～」	2020.7.30 (147 名) (TTC 会員外 60 名/44 社)	マルチメディア 応用
7	TTC オンラインセミナー「デジタルネット時代のヘルスケア関連商品・サービス最新取組動向」	2020.10.7 (146 名) (TTC 会員外 52 名/39 社)	マルチメディア 応用
8	【2020 年度情報通信月間参加行事】 TTC・クリエイティブ・ビジョン共催 オンラインセミナー「DX 時代のオープンイノベーション×スタートアップセミナー」	2020.10.8 (72 名) (TTC 会員外 15 名/15 社)	企画戦略委員会
9	【2020 年度情報通信月間参加行事】 TTC オンラインセミナー「Society 5.0 の実現と標準化 ～電子商取引における最新のセキュリティ関連動向～」	2020.10.9 (179 名) (TTC 会員外 95 名/68 社)	業務運営連絡会
10	【2020 年度情報通信月間参加行事】 TTC オンラインセミナー「IoT エリアネットワークに関わる標準化・技術動向 ～ニューノーマル時代に向けて～」	2020.10.19 (127 名) (TTC 会員外 50 名/46 社)	IoT エリアネットワーク
11	TTC オンラインセミナー「5G 最新機能 (3GPP リリース 16) ～仕様概要、実現ソリューションと産業連携～」	2020.10.27 (293 名) (TTC 会員外 49 名/31 社)	移動通信マネジメント、3GPP
12	【2020 年度情報通信月間参加行事】 TTC オンラインセミナー「e スポーツビジネスの最前線」	2020.11.5 (150 名) (TTC 会員外 51 名/41 社)	企画戦略委員会
13	【2020 年度情報通信月間参加行事】 TTC オンラインセミナー「5G モバイル向け次世代光アクセスの最新技術・標準化動向」	2020.11.12 (188 名) (TTC 会員外 22 名/20 社)	アクセス網
14	TTC・クリエイティブ・ビジョン共催 オンラインセミナー「DX 時代のオープンイノベーション×スタートアップセミナー」	2020.11.17 (39 名)	企画戦略委員会

	シリーズ第二弾」		
15	【2020 年度情報通信月間参加行事】TTC オンラインセミナー「超高臨場感技術の標準化動向と事例に見るサービス展望」	2020.11.27 (101名) (TTC 会員外 4名/4社)	マルチメディア 応用
16	TTC オンラインセミナー「e スポーツビジネスの最前線 シリーズ第二弾」	2021.12.8 (106名) (TTC 会員外 34名/29社)	企画戦略委員会
17	TTC オンライン Workshop 「ITU AI/ML in 5G Challenge 日本ラウンド受賞者による AI 活用研究の発表について」	2020.12.14 (69名) (TTC 会員外 14名/14社)	Network Vision
18	TTC・クリエイティブ・ヴィジョン共催 オンラインセミナー「DX 時代のオープンイノベーション×スタートアップセミナー シリーズ第三弾」	2020.12.22 (48名) (TTC 会員外 15名/15社)	企画戦略委員会
19	TTC オンラインセミナー 「IoT スマート シティに関わる標準化・技術動向～日欧の 開発状況～」	2021.1.12 (164名) (TTC 会員外 13名/13社)	IoT・スマート シティ
20	TTC・クリエイティブ・ヴィジョン共催 オンラインセミナー「CES2021 同時開催！！ JapanTechProject@b8ta 出展企業オン ラインセミナー ～ なぜ CES に出展したの か？～」	2021.1.13 (104名) (TTC 会員外 27名/24社)	企画戦略委員会
21	ICT ビジネス戦略オンラインセミナー 「デジュール及びフォーラム標準に関する 国際標準化活動動向調査」(第一回)	2021.1.14 (138名) (TTC 会員外 37名/31社)	受託案件
22	TTC・量子 ICT フォーラム合同オン ラインセミナー 「量子暗号の最前線と今後の ビジネス化に向けて」	2021.1.19 (326名) (TTC 会員外 133名/101社)	企画戦略委員会
23	TTC オンラインセミナー「標準必須特許 の歴史的な流れを知り、今後の標準必須特 許問題への対応を考える」	2021.1.26 (225名) (TTC 会員外 71名/49社)	IPR 委員会
24	TTC オンラインセミナー「e スポーツビ ジネスの最前線 シリーズ第三弾」	2021.1.28 (109名) (TTC 会員外 31名/23社)	企画戦略委員会
25	標準化人材育成オンラインセミナー「コロ ナ禍における標準化機関の活用方法」	2021.2.17 (104名) (TTC 会員外 36名/29社)	受託案件
26	TTC オンラインセミナー「CES2021 に見 る新たな潮流」	2021.2.24 (213名) (TTC 会員外 14名/13社)	IPR 委員会
27	ICT ビジネス戦略オンラインセミナー「デ ジュール及びフォーラム標準に関する国 際標準化活動動向調査」(第二回)	2021.3.3 (135名) (TTC 会員外 51名/40社)	受託案件
28	TTC オンラインセミナー「APT(アジア・ 太平洋電気通信共同体)での取組み ～ COVID-19 禍の中で～」	2021.3.17 (73名) (TTC 会員外 29名/23社)	BSG
29	TTC オンラインセミナー 「災害時の通信 確保～東日本大震災から 10 年を経て～」	2021.3.31 (205名) (TTC 会員外 96名 81/社)	コネクテッド・ カー

別紙 7-2

他機関主催セミナー・ワークショップへの後援・協賛

No	名称	年月日	主催	種別
1	IETF 報告会 (107th Virtual)	2021.5.11	Internet Society 日本支部 (ISOC-JP)、一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター (JPNIC)	後援
2	CIAJ 主催 Web セミナー「リモートワークでの FAX 活用」	2020.7.21	一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会 (CIAJ)	協賛
3	ITU 主催 AI / ML 5G チャレンジ 日本ラウンドのウェビナー (協賛)	2020.8.7	ITU	協賛
4	ジャパンセキュリティサミット 2020	2020.9.1～10.16	ジャパンセキュリティサミット 2020 実行委員会	共催
5	第 52 回世界情報社会・電気通信日のつどい	2021.10.6	一般財団法人日本 ITU 協会	後援
6	デジタルトランスフォーメーション & デジタルツインフォーラム	2020.10.29	一般社団法人日本 OMG	後援
7	IETF 報告会 (109th)	2020.12.23	Internet Society 日本支部 (ISOC-JP)、一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター (JPNIC)	後援
8	工場向けワイヤレス IoT 講習会	2021.2.5	NTT データ経営研究所	協力
9	Web で実現する未来の IoT ～「WoT-JP CG」設立イベント	2021.2.27	WoT-JP CG イベント実行委員会	後援
10	HATS セミナー2020	2021.3.5	HATS フォーラム	協賛

別紙7-3

展示会等への後援・出展

No	名称	年月日	開催場所	種別
1	第 4 回通信・放送 Week	2020.10.28～30	幕張メッセ	協賛

2020 年度受賞者一覧

1 情報通信技術賞 総務大臣表彰

- (1) 「ICT アクセシビリティとデジタルヘルスに関する標準化及び普及活動への貢献」
慶應義塾大学（元 日本電信電話株式会社） 川森 雅仁 殿
- (2) 「ウェブブラウザの縦書レイアウトに関する国際標準化及び普及活動への貢献」
団体名 次世代 Web ブラウザのテキストレイアウトに関する検討会 殿
(代表者 村井 純 殿)

2 情報通信技術賞 TTC 会長表彰

- (1) 「放送・通信での 4K・8K メディア伝送技術に関する研究開発及び標準化にかかわる功績」
日本放送協会 青木 秀一 殿
- (2) 「アジア太平洋地域における光ファイバー無線(RoF)技術の標準化の推進にかかわる功績」
国立研究開発法人情報通信研究機構 小川 博世 殿
- (3) 「サイバーセキュリティ及び分散台帳技術の標準化活動にかかわる功績」
奈良先端科学技術大学院大学 門林 雄基 殿
- (4) 「移动通信システムにおけるオペレーションシステムの高度化及びコア網仮想化の標準化にかかわる功績」
株式会社NTTドコモ 榮 浩三 殿
- (5) 「E T S I における Body Area Network の標準化活動にかかわる功績」
広島市立大学（元 株式会社東芝） 田中 宏和 殿
- (6) 「I P 相互接続に関する標準化の推進にかかわる功績」
K D D I 株式会社 蓑田 学 殿

3 功 勞 賞

- (1) 「伝送網の時刻・周波数同期に関する標準化活動にかかわる功績」
日本電信電話株式会社 新井 薫 殿
- (2) 「SIP ドメイン解決 DNS の相互接続仕様の策定及び TTC と連動した 3GPP 標準化にかかわる功績」
日本電信電話株式会社 永徳 はるか 殿
- (3) 「電気通信番号に関する標準化の推進にかかわる功績」
日本電信電話株式会社 大久保 知明 殿
- (4) 「oneM2M 国際標準仕様策定及び同技術の普及促進にかかわる功績」
K D D I 株式会社 奥井 宣広 殿
- (5) 「光ファイバシステムに関する標準化の推進にかかわる功績」
富士通株式会社 國松 和宏 殿

- (6) 「コネクテッド・カーに関する標準化活動にかかわる功績」
元 富士通株式会社 小谷 誠剛 殿
- (7) 「OTN インタフェースに関する標準化活動にかかわる功績」
元 日本電信電話株式会社 小林 正啓 殿
- (8) 「光アクセス仮想化における ITU-T SG13/SG15 標準化活動にかかわる功績」
沖電気工業株式会社 斉藤 洋之 殿
- (9) 「光ファイバ及びケーブルの諸特性に関する標準化活動にかかわる功績」
日本電信電話株式会社 坂本 泰志 殿
- (10) 「技術調査アドバイザリグループにおけるフォーラム活動調査にかかわる功績」
日本電気株式会社 神保 光子 殿
- (11) 「伝送網の装置機能及び保護・復旧に関する標準化の推進にかかわる功績」
日本電信電話株式会社 関 剛志 殿
- (12) 「通信ネットワーク運用管理に関する標準化活動にかかわる功績」
日本電信電話株式会社 田原 光穂 殿
- (13) 「ICT と気候変動に関するアップストリーム活動にかかわる功績」
日本電信電話株式会社 張 暁曦 殿
- (14) 「光アクセス網システムに関する標準化の推進にかかわる功績」
三菱電機株式会社 牧野 真也 殿
- (15) 「ITU-T SG20 及び FG-DPM の標準化動向調査並びに情報共有にかかわる功績」
株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所 渡邊 敏康 殿

4 感謝状

- (1) 「国連欧州経済委員会自動車基準調和世界フォーラム（WP29）での自動運転及び関連する技術について基準案の策定にかかわる功績」
独立行政法人自動車技術総合機構 新国 哲也 殿
- (2) 「消防指令システムの共通インタフェースの標準化にかかわる功績」
団体名 企業ネットワーク専門委員会 消防指令システムサブワーキンググループ 殿
(代表者 藤井 威生 殿)
- 沖電気工業株式会社 青木 雄一 殿
電気通信大学 石橋 功至 殿
電気通信大学 藤井 威生 殿
日本電気株式会社 前田 鏡二 殿
株式会社日立製作所 松本 耕太郎 殿
富士通株式会社 丸山 隆之 殿
株式会社富士通ゼネラル 井部 丈士 殿

(3) 「TTC との連携による日本企業への IoT 技術の普及推進にかかわる功績」

団体名 一般社団法人日本OMG 殿

(代表者 吉野 晃生 殿)

II 附属明細書

記載すべき事項はなし。